

予算決算審査委員会報告書

令和6年3月11日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和6年3月11日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記					
案		件		審査結果	少数意見
議案第2号		令和6年度備前市一般会計予算（総務）		継続審査	—
議案第17号		令和5年度備前市一般会計補正予算（第14号）（総務）		継続審査	—

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第17号の審査（総務部、総合支所、会計課、 監査）	2
議案第2号の審査（総務部、総合支所、会計課、 監査）	7
議案第17号の審査（市長公室、総合政策部）	28
議案第2号の審査（市長公室、総合政策部）	31
閉会	51

予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和6年3月11日（月）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午後4時18分	閉会
場所・形態	委員会室　会期中（第1回定例会）の開催			
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	草加忠弘
	委員	中西裕康		土器　豊
		尾川直行		立川　茂
		西上徳一		石原和人
		山本　成		青山孝樹
		藪内　靖		松本　仁
		内田敏憲		奥道光人
		丸山昭則		
欠席・遅参・早退委員	なし			
列 席 者 等	議長	守井秀龍		
説 明 員	市長公室長	今脇誠司	市長公室参与	梶藤　勲
	秘書課長 兼行財政改革課長	神田順平	広聴広報課長	則枝勇人
	総合政策部長	濱山一泰	企画課長	馬場敬士
	ふるさと納税課長	桑原淳司	危機管理課長	竹林幸作
	事業推進課長	國光裕一郎	デジタル推進課長	行正英二
	総務部長	今脇典子	総務課長	青木克行
	財政課長	榮　研二	契約管財課長	岸本豊弘
	税務課長	星尾雄二		
	総括総合支所長	杉田和也	三石総合支所長	瀬尾茂樹
	日生総合支所長	竹林秀高	吉永総合支所長	小川勝巳
	会計管理者	三宅貴夫	監査委員事務局長	岡　育利
傍 聴 者	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○森本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は15名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

本日は、3月8日に事前にメールでお知らせしておりますとおり、前半が総務部、総合支所部、会計課、監査委員事務局関係、後半が市長公室、総合政策部の審査としておりますので、お願い申し上げます。

議案第2号令和6年度備前市一般会計予算、議案第17号令和5年度備前市一般会計補正予算の2議案の審査を行います。

議事の運営に格別の御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

いずれも補正予算の審査を先に行いますので、よろしくお願いいたします。

***** 議案第17号の審査（総務部、総合支所、会計課、監査） *****

まず、議案第17号令和5年度備前市一般会計補正予算（第14号）中、総務部、総合支所、会計課、監査委員事務局関係の審査を行います。

まず、歳入から行います。

議案書の14ページをお開きください。所管別分類表は、3ページをお開きください。

審査範囲は、まず1款市税から16款国庫支出金までを範囲といたします。

○中西委員 14ページの法人のところ、実績ということで書かれてありますけども、業種とすればどういった業種が今回少し増えたということになるのでしょうか。

○星尾税務課長 今回、実績見込みによる増額ということではございまして、業種別にどの業種が増えたとかまでは精査してございませんので、この場では回答ができない状態です。

○中西委員 ということは、法人全体としてよかったという意味合いになるんですか。

○星尾税務課長 そのとおりでございます。

○中西委員 続いて、固定資産税ですけども、ここでは増額実績ということになるんですけども、どういうものが見られたのでしょうか。

○星尾税務課長 固定資産税、毎年土地に関しましては下落傾向にあります。当初見込んでいた下落幅よりも実際減少幅が少なかったということで、今回1億1,600万円の補正予算で増額させていただいております。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行きます。

18款財産収入から最後23款市債までを範囲といたします。

○石原委員 28、29ページの基金繰入金、上から2つ目の振興基金繰入金、実績であったり財源更正であったりという説明がございすけれども、企業用地造成事業の特別会計、それから

宅地造成の事業の特別会計繰出金の実績見込みということですが、これ実績はいかほどだったんでしょうか。

○**榮財政課長** まず、企業用地の造成事業の特別会計の繰出金の財源といたしまして、このたびの最終補正でマイナス4,989万6,000円、補正後額が4億3,118万4,000円となっております。

それからもう一つ、宅地造成分譲事業特別会計繰出金ですけれども、こちらの財源といたしまして、このたびの補正でマイナス6,042万2,000円、補正後額といたしまして1,446万8,000円となっております。

○**石原委員** それから、伊部東休憩所整備事業の財源更正ということですが、この動きについてお聞かせいただければ。

○**榮財政課長** 当初はまちづくり応援基金で5,000万円を措置しておりました。このたびの補正予算でそのうちの実績分ということで、実績見込み分含めまして振興基金へ1,860万円を計上いたしております。

まちづくり応援基金は、5,000万円をゼロに落としております。それからもう一つ、この振興基金で、公園管理事業ということでインクルーシブ遊具の整備工事費を同様に企業版ふるさと納税からの組替えということで、4,550万円を計上いたしております。

○**石原委員** インクルーシブ遊具については、さっき言われた企業版ふるさと納税を財源で見込んでおりましたけれども、ここで財源更正をなされていますが、東休憩所の当初まちづくり応援基金で財源を見込んでおったものをここで振興基金へというのは、その動きをもうちょっとお話しただけならと思うんですが。

○**榮財政課長** 当初伊部東休憩所の整備ということで5,000万円をまちづくり応援基金の充当事業として上げておりました。最終補正ということで、実績見込みが出たということでまちづくり応援基金を全額5,000万円落として、その代わり実績予定分と実績見込み分として振興基金に先ほど申しあげました金額を計上いたしております、1,860万円。

○**石原委員** この下にまちづくり応援基金繰入金の減額が出てきますけれども、これは後半の取扱いになるんですね、まちづくり応援基金は。

○**榮財政課長** 財源更正でしたら、私どもで答弁をさせていただきます。

○**石原委員** この次のまちづくり応援基金繰入金のところの説明で、見込んでおった各事業の費用を実績でもろもろ減額がなされておるんでしょうけれども、伊部東休憩所のその実績をもって先ほど言われたまちづくり応援基金の減額でええんじゃないのかなという捉えておるんですけど、あえてこの振興基金でというところを。

○**榮財政課長** 基金現在高のバランス等を考えまして、まちづくり応援基金もいろいろな多様な事業に充当できます。ソフト事業、ハード事業関わらず、まちづくり応援基金は使途が可能ということになっております。一方で、振興基金はハード事業の整備が目的となっておりますので、

このたびそういった事情から財源の組替えをさせていただいております。

○石原委員 基金もいろいろ目的特定ある程度されとったりして、さっき言われた基金のバランスとか、いろいろまあまあ奥深いなというのを改めて感じたところと、一番下のまちづくり振興基金繰入金、こちらの実績見込みで減額となっておりますが、ここで道路新設改良事業、それから都市計画総括事業の実績見込みにより減となっておりますが、それぞれの事業、こういった状況、実績なのか、当初の見込みと比べて、お教えいただければと思うんですが。

○榮財政課長 まず、道路新設改良事業につきましては、当初5,000万円を見込んでおりました。このたび実績見込みによる減ということで、こちらのほう備前片上駅の南側の道路計画等に当たるものですが、こちらを最終補正ということで、こちらのほう含めまして最終補正でマイナス3,800万円減額をしております。

それからもう一つが、西片上の駅舎の改修基本設計ということで当初2,750万円を予定しておりましたけれども、このたびの最終補正でマイナス629万7,000円減額いたしまして、補正後額として2,120万3,000円としております。

○藪内委員 土木債、11節緊急自然災害防止対策事業債、道路防災事業充当、これ湾戸1号線改良工事の実績見込みによる減額とありますが、どういう状況でしょうか。

○榮財政課長 事業費が減額になりまして、市債をもう発行しないということといたしました。その分、民間からの寄附金等がございましたので、そちらのほうを活用いたしまして事業を実施しているというものでございます。

○藪内委員 減額にはなりましたが、もともと予定されていた工事はできるということなんですか。

○榮財政課長 工事の内容等につきましては、もともとどの程度を想定していたかというところも十分把握をいたしておりませんので、ここでお答えできません。

○石原委員 先ほど藪内委員が言われた市債含めて全て今日ここで一応所管になってはいますが、この内容については、ほんなら建設関係でしたら、次の産業のところで内容は確認をさせていただくということで、一応取扱いはこちらになってはいますが。

○森本委員長 事業内容については所管のところで確認をそれぞれのところでしてください。

○中西委員 28ページの雑入、総務費雑入、派遣職員給与費負担金、減額の理由について教えていただきたいと。

○青木総務課長 当初見越しておりました派遣人数が減っておりますので、減ったものと、あと派遣する職員の給料が少なかったもので、その分だけ減っております。

○中西委員 これはどこへ派遣する予定だった人数なんでしょう。

○青木総務課長 すみません、少し時間をいただいてもよろしいでしょうか。

○石原委員 先ほど榮課長、基金のやり取りで、財源の組替えだったり更正のところはこちらでということだったんですけど、じゃあ、まちづくり応援基金繰入金、こちら各事業の実績と企業

版の財源としていたものでしょうけれども、それぞれ事業も説明にございますけれども、金額であつたりというところ、事業のですね、4つほどありますけれども、お教えいただければと思うんですが。

○**榮財政課長** まちづくり応援基金の繰入金につきましてですが、全部で13項目ほどございますけれども、順に申し上げさせていただいてもよろしいでしょうか。

○**石原委員** 実績の減額は結構ですので、企業版のほうから組み替えられるインクルーシブ遊具のところと瀬戸内市との連携事業、備前焼の窯の改修補助事業、バカロレア教育、この4つだと思うんですが、企業版のほうからの動きについて。

○**榮財政課長** 企業版から応援基金への組替えにつきまして御説明をさせていただきます。

まず、備前焼振興事業ということで、瀬戸内市との連携事業負担金につきましては当初2,100万円予定をいたしておりましたが、実績見込みということで、このたびの補正で企業版を1,900万円減額をして、補正後額で200万円。1,900万円を応援基金へ振り替えております。

それから、備前焼窯改築等の補助金につきまして当初500万円を企業版で見込んでおりましたが、この補正で400万円減額いたしまして、補正後額で100万円。その400万円を応援基金へ振り替えております。

それから、インクルーシブ遊具につきましてですけれども、当初公園管理事業ということで9,750万円を企業版で予定いたしておりました。このうち9,210万円を応援基金と振興基金のほうへ組替えをさせていただきまして、補正後額で540万円といたしております。

それから、バカロレアにつきましてですけども、当初2,650万円を企業版で予定をいたしておりますが、全額2,650万円を応援基金へ振替をいたしております。

○**森本委員長** ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出に移らせていただきます。

32ページをお開きください。所管別分類表は7ページです。

範囲は、32ページの2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から32、33ページ、2款総務費、1項総務管理費、7目支所及び出張所費までを範囲といたします。

○**立川委員** 32ページ、33ページ、総務管理費のうち3目財政管理費、13節委託料が18万3,000円、公会計の財務書類作成支援業務委託料がマイナスされておるんですが、これ委託先とマイナスとした原因について御説明いただけたらと思います。

○**榮財政課長** 委託先につきましては、京都市にあります日本会計コンサルティングというところに委託をいたしました。これは入札でございます。減額理由につきましては、入札残ということもありますけれども、仕様書の内容を精査いたしまして、できるだけ自前でできるところはやっ払いこうという意味で若干仕様書を見直した結果でございます。

○森本委員長 ほかに質疑のある方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が34ページ、2款総務費、2項徴税費から最後61ページまでの14款予備費、1項予備費までを範囲といたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、補正予算書の10ページをお開きください。

第5表地方債補正です。所管別分類表は2ページをお開きください。

○中西委員 10ページの地方債補正のところの緊急防災・減災事業ですけど、主にどのようなことをお考えになっておられるんでしょう。

○榮財政課長 このたびの緊急防災・減災事業の借入れにつきましては、消防車両の購入を実績がもう出ましたので、こちらのほうで補正をさせていただいております。

○青木総務課長 先ほどの中西委員の質問の回答なんですけども、備前市の財団に派遣する予定だった人数が減ったためにです。

○中西委員 3階にある財団ですよ。

○青木総務課長 4階にあるところです。

○中西委員 何人の予定が、例えば5人の予定が4人になったとか。それから、給料の差は職員に依拠して当然違いがあるんですけども、例えば課長級が行くところが係長級が行ったとか、そういうところはどうか。

○青木総務課長 4人（「5人」と後刻訂正）予定していたところ3人なんですけども、お一人、途中で財団の職員になりましたので、そういったところで減額が大きくなったというところになります。なんで、何級が何人っていうのは今すぐお答えできないんですけども。

○石原委員 60、61ページの積立金、所管自体は違うんかも分かんんですけど、積立金、上から3つ目、企業版ふるさと納税、基金の積立金がございますけれども、先ほどの3つの事業の金額少なめかなと思いますけども、合わせて数百万円は企業版ふるさと納税のところまで充てられて、残りをまちづくり応援基金への組替えというところがございましたけれども、ここで2,604万2,000円、企業版で積み立てられておりますけれども、ここでさっきの事業へ充当されずにこちらへ企業版が、この間の議会の御答弁で1月末現在で三千七百数十万円いただいておりますというような御答弁があつて、先ほど課長がおっしゃった3つぐらいの事業にちりばめられた金額と、ここの積立ての金額ぐらい合わせば、その金額ぐらいになるのかなという捉えでおるんですけども、そういった事業に充当されずにここで積み立てられるものと、その区別っていうんですかね。

○榮財政課長 寄附をいただいた内容につきまして、詳しいことは申し上げられないんですけども、私が聞いている範囲では、2,600万円の寄附金につきましては、使途の希望があつたものでありまして、この令和5年度の事業への充当というのができにくいといったようなものと

聞いております。

○森本委員長 よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑がないということで、以上で議案第17号中、総務部、総合支所、会計課、監査委員事務局関係の審査を終わります。

***** 議案第2号の審査（総務部、総合支所、会計課、監査） *****

次に、議案第2号令和6年度備前市一般会計予算中、総務部、総合支所、会計課、監査委員事務局関係の審査を行います。

先ほどもそうでしたが、なお、ふるさと納税寄附金の基金繰入金充当に関しては、前半のここでお尋ねください。

まずは、歳入から行います。

議案書の14ページをお開きください。所管別分類表は2ページをお開きください。

審査範囲は、14ページの1款市税から18、19ページの4款配当割交付金までを範囲といたします。

○尾川委員 市民税の個人と法人のことについてお聞きしたいんですけど、今だんだん下がってきて、納税義務者も恐らくどのくらいの、私の計算したところじゃ、納税義務者も人口の割合にしたら51.7%ぐらいになりやへんかと思うんですけど、その辺の感覚というのを教えてもらうたらと思うんですが、どんな感じ持ってもらえるんかというのをね。

○星尾税務課長 まず、個人市民税についてでございますが、納税義務者につきましては、令和6年度の見込みが約1万6,264名、令和5年度の見込みが1万6,267名、見込みとしては3名減ということではありますが、個人の総所得額が令和5年と令和6年を比較しますと、令和6年度は5億4,800万円ぐらい増加する見込みでございます、個人の市民税も本来であれば昨年の当初予算と比べて3,000万円ぐらいは上がるんじゃないかなという見込みではあったんですけども、このたび令和6年度の市県民税から1人当たり所得割1万円を減税するという定額減税というものがございまして、所得割が1万円以上かかっている方が見込みといたしまして1万3,731人掛ける1万円で、これ多く見積もっておりますので、9掛けといたしましても1億2,300万円ぐらいが対象になろうかと思えます。

扶養に取っている方につきましても追加で減税するというので、扶養に取られている方が約7,200人程度おりますので、トータル1億9,600万円が個人の市県民税から減税されるということで、昨年度の当初予算と比べまして約1億6,600万円減額と見込んでおりますが、この減収分につきましては国から地方特例交付金ということで全額国費で措置されるということではあります。

あと法人税につきましては、令和5年度の実績を見込んで、昨年が年間4億円の予算ではありましたが、今年度令和5年度現在、約5億8,000万円程度の実績がありますので、景気が上

向くではないですが、約8,500万円程度増額した当初予算として組ませていただいております。

○尾川委員 どんどん納税義務者が減ってきて、それで3万1,000ほどか、人口で1万6,264が見込みということなんですが、そういう状態でずっと続いた後、国から何ぼかもらえるということもあるんかもしれないけど、その辺でどう滞納分を減して、徴収率を上げていくということも一つの方策だと思うんじゃないけど、そのあたりは特に税務担当としたらお考えなのか。

○星尾税務課長 年々人口減少ということで、納税義務者も右肩下がりで行っていかないと考えております。滞納繰越分につきましても、例年徴収率が15%程度ではありますが、コロナも2類から5類になったということで、職員も滞納者の財産等調査をいたしまして、生活困窮されている方については差押えということには至らないんですが、ある程度の蓄えがあるのに滞納されている方につきましては差押え等を進めているところではございます。

○尾川委員 法人関係の景況というのも、これも企業数がどういう動きになっとなかというのものあるんですけど、そのあたり、一応現年分ということでは上がるとるような、予算上じゃあ、5年と6年と比較したら上がるとると、その辺の景況というのはどんな感じなんですか。

○星尾税務課長 毎年当初予算作成をする際に、大手事業所30社程度に調査票を送っております。回答がある事業所、ない事業所ありますが、見通しが見つからないとか、実際に景気が上がっているのが前年度比50%アップとかというような回答もあります。その結果を踏まえて、回答がない事業所につきましては、前年度比75%程度とちょっと低めの設定はさせていただいてはいるんですけども、アンケートの回答をいただいた方につきましては、その数字を入れさせていただいて、その集計をいたしまして前年度比約8,500万円ぐらい上がるのではないかなという見込みで計上させていただいております。

○尾川委員 税務課から見たときの人口減少をどう捉えとんじやろうかなと、それでどう施策に反映していこうとしとんかということをお聞きしとるんで、その辺の立場から、人口減少もいろんな、ただ人が多い、少ねえというんじゃないしに、市民課の担当というんじゃないしに、税務上の問題からとか、法人の問題とか、そういう面からの取組をぜひやってほしいという意味で質問させてもろうとるんですわ。

○内田委員 16ページ、市税、6項鉦産税、今現在何社ぐらいから徴収されとんですか。

○星尾税務課長 現在3社でございます。

○内田委員 すぐその下の都市計画税ですが、これはどこの地区で何世帯ですかね。

○星尾税務課長 今手元に資料はございませんが、例規集の中に載っているかと思います。

○中西委員 16ページ、都市計画税、前年度比、少し下がるわけですけども、この下がる要因というのは何なんでしょうか。

○星尾税務課長 固定資産税自体が3年に1度評価替えということでございます。それに付随しまして都市計画税も全体的に下落傾向かなという形で、都市計画税は約700万円程度の減額を

見込んでおります。

○中西委員 14ページの固定資産税が前年度より少し下がっている、ここは評価替えがやっぱり大きな要因ということになるんですか。

○星尾税務課長 年々土地等下落傾向にあります、3年に1度の評価替えが大きな要因として、今回固定資産税でいいますと約6,600万円下落するという見込みで計上させていただいております。

○内田委員 18ページ、1項の地方揮発油譲与税、基準が市道の延長及び面積になっておるんですが、備前市の市道の延長はどれくらいあるんですかね。

○榮財政課長 448キロメートルでございます。

○内田委員 面積は。

○榮財政課長 189万7,560平米でございます。

○森本委員長 次の範囲に行かせていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

20ページ、21ページから5款株式等譲渡所得割交付金から24、25ページの15款使用料及び手数料、1項使用料です。別紙1を参照にしてください。

○尾川委員 地方交付税のことで、国全体としても、いろいろ書いてある、コロナの関係でかなり金ばらばら出して、ええかげん使ようというて新聞にも書いてあったんじゃないけど、今後の地方財政の運営というのを、こういう状態で、下がり方が少ねえいや少ねえけど、昨年、一昨年と同額ぐらいの交付税なんだけど、金使やあ、ようけい出てくるんかどうかわかんけど、そのあたりで国としてはどういう方向を考えて、財政課長というか、どういう運営をしていこう、市は運営していったらええんかなというのを、指針みたいなものをね、国の地方財政の方向とこの辺を絡めて教えてもらったらと思うんですけど。

○榮財政課長 まず、総務省が示しております令和6年度の地方財政の収支の見通しというところなんですけれども、地方全体で財政規模の総額を93兆6,400億円、前年度比で1.7%増と見込んでおります。このうち地方へ配分します地方交付税、国全体で18兆6,671億円、こちらも前年度比1.7%の増という見込みを立てております。

それで、増額の要因といたしまして、まず地方の会計年度任用職員さんの給与改定、勤勉手当の支給等に要する経費を確実に対応してくださいということで増額を見込まれております。

それから、子ども・子育て支援の強化ということで、児童手当の拡充、所得制限の撤廃だとか高校生までの支給、それから多子世帯への加算を含む子育て支援加速プランというのを国が策定しておりますが、これに基づいて地域の実情に応じて、さらに独自に実施する事業等への財源といたしまして、新たに子ども・子育て費というのを地方交付税、普通交付税の中に創設をいたしまして、従前の社会福祉費ですとか保健衛生費、その他の教育費とか、そういったところに分散されていた子供に係る費用というのを一元化をするということをこの6年度の交付税の改正で

行っております。

あとは、高齢者を対象としたコロナワクチンの予防接種への、これは前年度まで補助金という格好でしたけども、こちらを実費徴収できない低所得者分について交付税の措置等行ったというもので、全体といたしまして前年度比で1.7%増ということになっております。

備前市としての今後の見込みというか、国の施策に対する対応でございますけれども、もちろんこういった子育て支援ですとかを中心に実践をしていかなきゃいけないと思っております反面、委員が懸念されております人口減少にも本格的に対応していく必要があるということで、特に一般行政経費につきまして今までかかっていた経費については、人口減少とともに交付税も削減の、議論からいいますと削減方向にベクトルが向きますので、これに対応するためにデジタル化であるとか、事務のスリム化であるとか、あと人件費の削減というよりも労働不足への対応ということ、こういったものを目的といたしまして、やはり一般行政経費はスリムにしていかなきゃいけないと考えております。

○尾川委員 そしたら令和6年度の予算というのは妥当じゃろうという、国もそんなに、備前市が1.7%増えるかどうか知らんけど、そういうことを期待してから、方向性とすりゃ、えろう間違いじゃねえわけ、今のやり方。子育て支援がほんまうまいこといっとんかなと思うて、しょうがねえ面があるけど、その辺は大まかには今言う説明があった国の動きに基づく備前市の在り方というのは、まあそう間違うとりゃへんという解釈でええわけ。

○榮財政課長 国のほうは日本経済が上向きにあるという状況から、こういった地方交付税についても、地方へ配分する交付税について令和6年度は財源不足は生じないと見込んでおります。

それからあと、子育て支援につきましてですが、どちらかといえば地方が先行してきたものを国が後追いでこういった施策をしていただけるというのは大変ありがたいことでございます。国の施策とそれから独自の備前市の施策というのをできるだけ効果的な形で、相乗効果が出るような形で実施していければと考えております。

○尾川委員 仮に先行しとるところに補助金が出たら、それは先行しとる自治体には金が入るわけ。何かよそのほうで、青森県じゃったか何か、先行しとったらそれをほっとくと、勝手にしとるやつじゃから。ほかのことに金使うぜという言い方も聞いたような気がすんじやけど、その辺は、あまり先、先、行きようたらかえって損するなと思うたりする、国はそういうお粗末なことはせんわけ。

○榮財政課長 新規に開始する事業に限られるといったような制約があるのが通常でございます。

このたびは地方交付税でございますので、交付税につきましては一般財源化ということで使途は問われませんので、使途問われずともこういった子育ての財源として活用していけるというのは、地方にとって大変ありがたいことだと考えております。

○中西委員 20ページ、5款の1項株式等譲渡所得割交付金、前年度比から見ますとかなり増

えてますんで、理由についてお尋ねをさせてください。

○**榮財政課長** 一定の上場株等の譲渡益が支払われる際に特別徴収されるという、5%の税率で特別徴収をされる分のうち、定率の割合が地方に交付されるというものでございます。

国も、先ほど交付税のところで申し上げましたけれども、経済が上向きになって株の取引が好調というところの譲渡益も十分に出ているというのを見越して、こういった増額を見込んでいるというものであります。

県から、この程度見込んでおいてくださいというようなそういった係数が来ますので、それを基に算出した金額でございます。

○**中西委員** 20ページの10款の1項自動車税環境性能割交付金、昨年度から見ると、金額は僅かでありますけども増えてますんで、これも教えていただけたらと思います。

○**榮財政課長** 環境性能割の交付金につきまして、こちらは数年前に廃止をされました自動車取得税減税に代わって新たに交付をされたものでございます。

増額の要因といたしまして、こちら県から係数が参りまして、それを基に積算をいたしておりますので、増要因となった理由につきまして詳細は把握はいたしておりません。

○**中西委員** 県から通知があれば、そういうふうに計算をするものなんですか、この財政というのは。

○**榮財政課長** 県税というのがベースになっておりますので、なかなか構成市町村のほうでそれを独自に見込むというのは難しいところがございますので、そういったところで県からの係数を使わせていただいております。

○**尾川委員** 25ページの総務管理使用料、職員駐車場使用料が僅かじゃけどアップしとんですけど、いろいろ絡んどるから主なところだけで、増えるところだけでええですけど、ちょっと説明してもろうたらと思うんですけど。

○**岸本契約管財課長** 本庁職員の駐車場使用料につきましては、前年と変わっておりません。

○**小川吉永総合支所長** 吉永総合支所は、1人増えたんで、1万2,000円上がります。

○**竹林日生総合支所長** 日生総合支所につきましては、外部団体の社会教育の職員の駐車人数が増えましたので、増えております。

お二人増えております。

○**瀬尾三石総合支所長** 三石は、1台分減のマイナス1万2,000円でございます。

○**中西委員** 24ページの総務使用料、別紙1を見ますと、三石総合支所、日生総合支所の行政財産使用料というのがあるんですけど、これは何なんでしょうか。

○**瀬尾三石総合支所長** 三石総合支所に関しては、コンビニにお貸ししとるユニットハウスの使用料と先ほどお答えした職員駐車場の使用料が行政財産使用料になっております。

○**竹林日生総合支所長** 日生総合支所におきましては、土地を地元町内会に行政財産をお貸ししております分の使用料となっております。あとは同じく職員駐車場の使用料になります。

○中西委員 三石のコンビニの場所と、それから職員駐車場があるというんですけど、職員駐車場は下の段の職員駐車場使用料の中には入らないんですか。コンビニの職員の駐車場ですか。

○瀬尾三石総合支所長 職員駐車場は下段の職員駐車場でございます。コンビニにお貸ししとるユニットハウスは三石総合支所の敷地内にある、すぐ隣の建物でございます。

○中西委員 そうなると、コンビニの使用料は51万2,000円ということになるわけですね。

○瀬尾三石総合支所長 コンビニにお貸ししとる使用料が51万2,000円でございます。

○中西委員 日生は、これはどこにお貸しをしているものなのでしょうか。

○竹林日生総合支所長 主なところといたしましては、栄町の町内会にお貸ししておる分が一番多いところでございます。

○中西委員 何をお貸しをしているのでしょうか。

○竹林日生総合支所長 栄町町内会ですけど、行政財産として駐車場用地として土地をお貸ししておる分が主たるものです。

○森本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

休憩に入ります。

午前10時43分 休憩

午前11時00分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

まず初めに、青木課長のほうからお願いします。

○青木総務課長 先ほど議案第17号の補正予算のところで中西委員にお答えしました派遣職員給与費の負担金の減額のところで、当初4人を見込んでいたと申しましたが、5人ということでしたので、訂正しておわびを申し上げます。

○中西委員 5人のうち4人しか行ってないと。向こうの職員になったのは、この4人のうちの誰かが職員になったわけですか。

○青木総務課長 当初派遣されたのは、職員3人おります。1人が途中でやめられて、財団の職員になったということであります。

○星尾税務課長 先ほど内田委員からの御質問、都市計画税の区域と世帯数という質問だったと思いますが、世帯数は出ないんですけれども、実人数でございますが、土地につきましては8,596人、家屋につきましては9,625人になっております。対象の地区ではございますが、西鶴山地区、香登地区、伊部地区、片上地区、伊里地区、三石地区、日生地区となっております。詳しい地番等につきましては、備前市の税条例のほうに、142条に細かく地番が載っておりますので、そこで確認をしていただければと思います。

○森本委員長 休憩前の続きで、24、25ページの使用料までで質疑のある方はいらっしゃい

ますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に移らせていただきます。

次は、28、29、15款使用料及び手数料、2項手数料から42、43ページの17款県支出金、3項県委託金、1目総務費県委託金までを範囲とします。

○尾川委員 29ページの徴税手数料について証明手数料、交付手数料、督促手数料、下がったりしとるところがあるんですけど、その辺の説明を。

○星尾税務課長 まず、証明手数料につきましてでございますが、令和5年度比較して22万円減額させていただいております。この主な原因につきましては、所得証明なり課税証明なりなんですが、市役所の窓口で交付する際は1件300円になりますが、マイナンバーカードをお持ちの方、コンビニで発行すると1件10円ということで、その分、前年と比較して減額になっております。

交付手数料につきましては、対前年度比2万円増ということで、一応見込みとしまして300円掛ける約70件程度増える見込みということで2万円の増とさせていただいております。

それから、督促手数料につきましては、前年の見込みでは1件50円掛ける7,000件を見込んでおりましたが、令和6年度は6,200件に下がる見込みということで減額となっております。

○尾川委員 特に督促なんか下がって、件数も下がってくるというのは、ちょっと矛盾があるかなという感じがあって、決算見てもそんなに厳しいなという感じ、そう気にせんでええんです、決算はね。ただ、ちょっとその辺、厳しい予算立てしとるなと思うて見せてもろうたんじゃけど。その辺督促が増えとんじゃねえかなという、景気が悪いということでね、と思うて、件数が増えりゃへんかと思うて。

○星尾税務課長 督促手数料の実績といいますか決算なんですけど、令和4年度でいいますと約28万1,000円、令和5年度今年度なんですけど、1月末時点の金額で約26万円ということを見越しまして、実績に近いような額、令和5年度が35万円見込んでおりましたがちょっと過大な見込みだったので、実情に合わせて31万円ということで計上させていただいております。

○中西委員 38ページの県支出金、県補助金、民生費県補助金、この人権啓発の補助金というのが総務課になっているんですけども、こんなことをお伺いするのはどうかなとは思いますが、このお金の使われ方はどのような形で支出をされるんでしょう。

○星尾税務課長 税務課で予算計上しております。住宅資金貸付金に係る需用費であるとか役務費であるとか、あとは人件費等につきまして県から補助があるというものでございます。

○中西委員 具体的にはこのお金はどのように使われるわけですか。

○星尾税務課長 実際には人件費がメインだと思います。職員の人件費に充てられます。

○中西委員 それと人権啓発というのがどのように関係してくるんでしょう。

○星尾税務課長 この住宅資金貸付金等、昭和40年代に行われた事業でございまして、その当時、地域的になかなか経済的に厳しい地区の方を対象に貸付けを行ったということから、人権啓発補助金というような形でのものではないかなと推測されます。

○中西委員 まだこういう形で県の補助金が残っているということですか。

○星尾税務課長 そのとおりでございます。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

44ページの18款財産収入から48から51ページで20款繰入金、2項基金繰入金までを範囲といたします。別紙3と別紙4を参照にしてください。

○尾川委員 45ページの財産貸付収入の建物貸付収入、昨年と予算上じゃ一緒なんですけど、説明してもろうたらと思うんですけど。

○岸本契約管財課長 建物貸付収入につきましては、3か所貸付けをしております。1件目が西鶴山公民館の一部を畠田の郵便局としてお貸ししております。それからあとは、和気看護学校の跡地を2つの団体にお貸ししております。計3団体に貸し付けております。金額的には昨年と同様でございます。

○内田委員 先ほどの下になりますけど、利子及び配当金、片上埠頭出資配当金、ここの今出資額は幾らですかね。

○青木総務課長 出資額のほうが私も分からないんですけども、今全体で4万6,000株あって、そのうちの2万400株を出資しています。1株50円で予算計上させてもらっております。

○内田委員 4万6,000株のうちの2万400じゃ、過半数割っていると理解しとけばいいですかね。

○青木総務課長 過半数は割っております。

○青山委員 48、49ページの基金繰入金の中の1節財政調整基金繰入金、5億3,000万円、昨年は廃目になっと思ったと思うんですけど、復活した理由なり用途なりを教えてください。

○榮財政課長 これは歳入と歳出の差額、総額で不足分を財政調整基金から歳出に対して不足する額を財政調整基金から繰り入れるものでございます。令和5年度につきましては3億8,300万円を繰り入れておりまして、令和4年度が繰入れなしというような状況であります。

○青山委員 令和4年度が廃目になっと思ったということですか。

これは、主にどういうものが当たるんですか。

○榮財政課長 一般財源になりますので、単純に歳出の総額と歳入の総額の不足する額を繰り入れるというものでございます。

○青山委員 総額ということでなかなか一つ一つといったら難しいということ、分かりました。

○中西委員 44ページの財産運用収入、別紙3を見てみますと、借地料というのが契約か何かの本体は別として、日生の総合支所の544万7,000円、これは主にこういったものが借地料として入ってくるのでしょうか。

○竹林日生総合支所長 主たるものとしましては、ローソンの日生支店への土地の貸付けになります。

○中西委員 吉永の総合支所の借地料というのはどういうものがあるのでしょうか。

○小川吉永総合支所長 電柱の敷地の借地料とそれから市有地の貸付料、それから吉永地区の財産区への貸付料ということになっております。

○中西委員 日生のローソンの借地料というのは、金額でいうと幾らぐらいになるのでしょうか。

○竹林日生総合支所長 ローソン側との契約で、金額の面につきましては公表できないことになっておりますので、お察しいただければと思います。

○中西委員 なかなかすごい契約になっているんですね。

ローソンというのは、寒河にあるローソンですよ。どこにあるローソンですか。

○竹林日生総合支所長 旧日生病院の跡地のローソンでございます。

○尾川委員 47ページの土地売却収入で500万円、どういう計画なんかというのを教えてもらったら、内容を。

○岸本契約管財課長 土地売却収入につきましては、管財分というか普通財産を1か所程度売り払えたらいいなというところで計上させていただいています。場所については、まだ確定はできておりません。

○青山委員 同じページなんですけど、総務費の寄附金、地域振興費寄附金の地区集会所の整備事業給付金145万円、これはどこになるのでしょうか。

○竹林日生総合支所長 日生町内にあります2か所の公民館の修繕工事の、日生の場合は全額市の予算で支出させていただいて、その後町内会から2分の1寄附していただくという形になっておりますので、この金額となっております。

○青山委員 内容を教えてもらえますか。

○竹林日生総合支所長 1か所目が雨漏りと外装塗装になります。もう一か所が空調機の設備改修となっております。

○尾川委員 関連して、この場合は計画というのはどうなって、雨漏りなんか、とにかくすぐせにやいけん思うたりするんです。空調にしてもしかりですけど、普通の旧備前のほうの自治公民館については、前年度に申請して直していただくという手順になったんですけど、こういう場合はもう計画なしで、事が起こったらすぐやってもらえるんで、その辺の統一性というのは図られとんですかね。要するに、今の実態だけ教えてもらうたらと。日生の取扱いは。

○竹林日生総合支所長 日生の場合ですが、その辺は同じで、翌年度の予算で計上させていただ

くという形にはなっております。

○尾川委員 ほんなら、漏りようたら、これで予算が通らなんだら執行できんということになるとるわけ。旧備前はそういう形になつとるわけ、10月ぐれえか11月に申請して、この時期で予算通って、それから執行というふうなことなん。その辺の取扱いがそごがあったら直してもらわにやいけんから。

○竹林日生総合支所長 その辺につきましては、旧備前と同じ取扱いとなっております。

○中西委員 46ページの繰入金、三石財産区管理事業特別会計繰入金250万円が計上されているんですけども、昨年たしか1,000万円繰入れをしていて、今回250万円ですけど、もとの基金の金額が大きくないところをこれだけ取っていくと大変心配になるところです。ついでに、この250万円、何されるのか、お聞かせいただきたいと思います。

○瀬尾三石総合支所長 これは、本年度三石地区にコンビニを誘致するに当たり、初期投資費用として総額で2,000万円補助金を交付するものでありまして、ただしその2,000万円を5年間分割してお支払いするという事で、本年度1,000万円、残り1,000万円を令和6年から9年の4年間で250万円ずつ分割してお支払いするというコンビニを誘致するに当たっての初期投資費用の補助金に当たります。

○中西委員 三石財産区の基金というのは、前年度で9,624万9,000円と、これ1,000万円取り崩して9,600万円ですから、またこっから1,000万円取っていくとなると8,600万円、基金としては大変財産区の方にとっては心配になるところでしょうけど、ここは財産区の皆さんは御意見はいかがなんでしょうか。

○瀬尾三石総合支所長 三石財産区の基金の財源にするに当たりましては、当然三石財産区管理会という三石地区の各地区の代表者から成る管理会の委員さんに承諾といいますか同意を得て、基金を財源とさせていただいております。

○中西委員 コンビニを誘致するに当たって、実際には幾らぐらい総費用がかかったんでしょう。

○瀬尾三石総合支所長 実際は約2,700万円程度と聞いております。ただし、700万円はコンビニ会社への預け金とか初期商品代金とかという感じで、いずれ自分に返ってくるお金と判断しまして、初期投資費用で本来必要な2,000万円を今回初期投資費用に関しては全額補助するという感じで補助金を交付しております。

○森本委員長 次の範囲に行かせていただいていいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

50、51の21款繰越金から最後23款市債、58、61ページまでを範囲といたします。別紙5を参照にしてください。

○中西委員 別紙5、基金の設置料というところでお伺いをしたいんですけど、自販機の設置料というのは1台、これは大体金額は決まっているものなんですか、それとも少しばらつきがある

ものなんですか。

○岸本契約管財課長 自動販売機の設置につきましては、本庁の分につきましては4台本庁舎の中に設置しておりますが、ここの設置料としましては、購入していただいた分の率によって設置料が連動いたします。ほかのところについては、それぞれ機種ごとに設置の金額については違ってきております。台数につきましては、旧看護学校に1台置いてあります。それから、片上分庁舎に1台を置いております。それから、備前片上の駅に3台を設置しております。

○中西委員 片上分庁舎というのはどこにあるんですか。

○岸本契約管財課長 旧教育委員会があったところです。農協跡を教育委員会が使って、その前に自動販売機は1台設置しております。

○中西委員 その下のATMの設置料というのがあるんですけど、契約管財課でATMというのがあるんですけど、これはどこにあるんでしょう。

○岸本契約管財課長 このATMの設置場所につきましては、今お答えしました教育委員会が前あったところ、JA跡のところですね、あそこに農協のATMがございます。

○石原委員 58、59ページの市債、12の過疎対策事業債でこれもろもろございますけれども、例えばですけど、上から4つ目の道路新設改良事業充当で8,000万円ということなんですけれども、これは先日の委員会でこちらの過疎に関する計画の変更の議案がございまして、路線が幾つか具体的な路線が加わったりしておりましたけれども、この8,000万円はもうあそこに明記されとる7路線に関する事業ということでよろしいんですかね。

○榮財政課長 ここの過疎対策事業債の充当事業とそれから過疎計画の対象の事業についてですけども、このたびの令和6年度の当初予算につきましては、現行の過疎計画に掲載されているものは、市道浦伊部線事業のみになります。8,000万円のうち2,350万円を計画しております。

それから、残りにつきましては、新たに香登81号線と伊部88号線の拡幅工事が予定をされておりますので、この事業に充当するということになって、この2路線についてはまだ過疎計画への掲載はないものと見込んでおります。

○石原委員 その過疎計画のところへ別段路線を個別にイメージしたりというのが必要不可欠でなく、路線名を掲げる意味合いというか、あれがどうなんかなって思いまして。

○榮財政課長 先ほど申しました新たな2路線につきましては、令和6年度内に過疎計画のもう一度変更をかけまして、その中に掲載をされてくるということになります。

○森本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、歳入は終わらせていただいてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次、歳出に移らせていただきます。

議案書は64ページを開いてください。

範囲は、64ページ、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から71ページまでの2款総務費、1項総務管理費、5目財産管理費までを範囲といたします。

○尾川委員 65ページの報酬、会計年度任用職員の報酬が5,000万円ほどあるんですけど、職務内容というか、何の仕事をすんじやろうかというのを聞きたいんで、多岐にわたつとるからな、主な、多いのはやっぱり総務関係が多いんじゃないと思うんじゃないけど、たしか、それで総務関係だけ教えてもらおうたらと思うんですけど。

○青木総務課長 今回、昨年度より少し金額が増えているんですけども、基本的には一般事務職、一般の事務をしてもらうのが多いということになります。

○尾川委員 何人おるんかな。

○青木総務課長 トータルでいくと33人分計上しております。

○中西委員 今の会計年度任用職員の報酬ですけど、昨年度の予算書と今年の予算書を比べると大分整理をしておられるような感じを受ける。恐らく会計年度任用職員もいろんな勤務形態がある人、それから時間数があったり、あるいは週の何回かというのものもあるかも分かりませんし、どういう形で今回は会計年度任用職員を整理されて、ここに付けている職員と、それからほかのところで付けている、たまに会計年度任用職員というのが出てくるところがあったり、あるいは新たに出てくるところもあったりするんですけども、どう整理をされたのか。

○青木総務課長 今回整理させてもらったのは、基本的には本庁内におられる一般の事務をする会計年度任用職員さんをこちらに集約させていただいております。

○中西委員 それは勤務時間には変わりはなく、フルタイムあるいは半日だとか3時間だとか、そういう人も含めて本庁はというところでくくっているわけですか。

○青木総務課長 勤務時間というのはそれぞれなんですけども、取りあえず総務課一括で予算的な管理をして、そこに必要な人をその時間、雇った人をそこに配属するという、そういった意味合いです。

○中西委員 総務で上がってくると、この予算書の中でも会計年度任用職員が出てくるところがありますよね。それは例えば総合支所なら総合支所というところでつけて、くくったのは本庁舎の中の会計年度任用職員だけということになるんですか。

○青木総務課長 さっき委員言われたように、総合支所なら総合支所で取ってもらっていたりします。本庁へ集約したのは、本当に一般事務なので、資格を有しない人か、保健師さんだったり栄養士さんなりとか、いろいろそういう人はそのまま原課に置いております。今回集約したのは、あくまで一般の事務的な職員の人を集約したということになります。

○中西委員 備前市全体で行政職から専門職、それから特別会計とかありますけども、特別会計は少し置いたとしても、備前市の一般会計の中で見る会計年度任用職員というのは、実際には何人ぐらいおられるんでしょうか。

○青木総務課長 当初予算書の最後に給与費明細書というのがありまして、191ページに会計年度任用職員というのがあって、本年度は476人という数字を載せております。

○中西委員 要は33人というのは、この本庁舎にいる行政職だと、その33人以外に専門職だとかいろいろ含めると本年度は476が会計年度任用職員の総数ですから、そんなにたくさん人がいるということになるんですか。

○青木総務課長 この中には学校であつたりにはたくさん調理員さんであるとか非常勤講師だったりとか、学校の教育支援員だったり、たくさんおられますので、時間は様々、長かったり短かったりしますが、そういう人を集めますとこれぐらいの人数になるということです。

○中西委員 一度、部署割りの正式職員と会計年度任用職員の一覧表というのは出せんもんですか。

○青木総務課長 整理ができたときには、どここの部には何人というのはできると思います。

○中西委員 委員長、よろしくお願いします。

○森本委員長 できる時期ってどれぐらいなんですか。

○青木総務課長 4月にならないとまだ分からないので、それより後に、4月中旬ぐらいにできたらいいかなと思っています。

○尾川委員 任用職員を例えばほかの部署が責任持って採用したりしようとするところ、ここへまとめるというたら、ほったら人事管理、どこでやりよう、総務でやりようじゃろうと思うんじやけど、何か採用は現場、所属の課がやったり、せえで、こういう金額、人件費のことについてはここへ上がったというの、どうもよう納得いかん。わしは、何かもうちょつきちっとした形で、そういう任用職員の管理というか、人事管理やるんなら一つのところへきちっと明確に分かるようにすべきで、採用は向こうじゃ、例えば学芸員の採用なんかは教育委員会、教育委員会と首長部局と違うんかもしれんけど、要するにその辺のきちっとした、今この表を見たら、人数は書いてねえ、いろんな部署、多岐にわたつたらあな、その辺は全部この分については採用は青木課長でやとるわけ。

○青木総務課長 このたびは、全部が全部、僕が試験をしたことがないので、これを皮切りに、これからそういう制度をきちっとしていけたらなと思うんですけども、今回したのは、各課に1人とか会計年度さんがおったときに、急な予算が増えたりとかしたときにはすぐ対応できないので、そういうことで一つの集約をすることで、そういった変化には堪えられるようなこともできますし、支払いの事務も担当者も減るというのも考えておりますので。

○尾川委員 きちっとした形で人事管理をやるべきじゃねえかなと。あるときは、金はこっちは上がったとるわ、そういうのを言うんじやけど、その辺を明確に。それで、答弁もあんたがしろもどろたあ言わんけど、正確じゃけど、何か疑うてかかって、その辺を明確にやってもろうて人事管理はやってほしいなという。だから、例えばそういうできるだけ採用方法へ、氷河期とかというようなことで採用しょんと一緒に、採用する方向へ、本採用にするように、臨時ばあにせ

ずに、本採用にするとかということも考えてほしいなという意味で質問させてもろうと。何かあったら答弁してちょうでえ。

○青木総務課長 他市でも、総務で一元化して管理しているところもありますので、そういったところをまた勉強させてもらって、いい制度にしていきたいと思っております。

○森本委員長 この会計年度任用職員に関してはいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中西委員 66ページ、需用費で燃料費が今年度は計上されてないんですけども、これはどこかほかのところへ計上されるんでしょうか。

○森本委員長 需用費の中で昨年は燃料費が計上されていて、令和6年度は燃料費の計上がないということなんですけれど。

○岸本契約管財課長 燃料費につきましては、このたび、公用車を集約しまして、一括で管財で管理しようということで、今回この金額になっております。

○中西委員 これはどこに出てくるんですか。

○岸本契約管財課長 予算書69ページの財産管理費の需用費の燃料費でございます。

○中西委員 68ページの財産管理費は対象範囲に入りますか。

○森本委員長 入ります。

○中西委員 そうであれば、ここに燃料費で計上されているのは、どの範囲の公用車がここに入るんでしょうか。

○岸本契約管財課長 以前は契約管財だけの公用車を計上しておりましたが、このたび公用車として集約いたしまして、約30台ほどをここでの燃料費で見えるようにしております。

○中西委員 公用車全体はもっと大きかったと思うんです。30台に絞ったというのは、何か絞った絞り方といいますか、まとめたところはどういう範囲でまとめられたんでしょう。

○岸本契約管財課長 それにつきましては、特別会計等除く分につきまして今回取りまとめをさせていただきます。

○中西委員 僕らも予算書を見て、少し変わっているなというところが気づくわけですよ。あらかじめそういうところは一言やっぱし、細部説明のところでも結構ですから、ちょっと書いていただけたら、ああなるほどなと思うんで、ぜひ、そういう細部説明書の書き方をしてほしいなと思います。ぜひ検討していただきたいと思います。

○岸本契約管財課長 今後そのようにいたします。

○森本委員長 休憩に入ります。

午前11時53分 休憩

午後 1時00分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

休憩前は、範囲が歳出の64ページから71ページまででした。需用費のところで、公用車の

あたりで終わったんですけど。

○尾川委員 67ページの委託料、顧問弁護士委託料で105万円、どういう計画で委託されるんかというのをお聞きしたいんですけど。

○青木総務課長 例年、昨年もその前もなんですけども、2つの弁護士事務所に委託契約をする予算を取っております。年間の契約ということになります。

○尾川委員 決算みたいなことを言うたんですけど、そういう2人でこのくらいのボリュームの仕事というのは起こりそうな感じなんですか。

○青木総務課長 2つお願いしているのは、セカンドオピニオン的にありますけども、主に1つの事務所をお願いして、それとは別の案件が増えてくればもう一つのほうにもお願いするということで、どれだけ増えてくるかは予定しておりませんが、2つの事務所をお願いしようと考えております。

○尾川委員 その下の当直業務委託料、横ばいというか、821万円でずっと何年もこれきとんですけど、今頃最低賃金がアップする云々あるんじゃないけど、その辺はもう、委託料じゃから賃金じゃねえんじゃないかもしれんけど、そのあたりは問題はないんですか。アップせなんだらいいんというのはいえですか。

○青木総務課長 こちらのほうは5年間の債務負担行為を組んでおりまして、その間は同額で取りあえず委託をお願いしている状況です。

○尾川委員 5年間というても、賃金が上がって、中身が変わってきて、最低賃金が上がって、毎年上がりようというかもしれないけど、その辺は特に問題なしで、委託料やったらええかな。

○青木総務課長 今のところは聞かれてきてもないので、問題ないのかなと考えております。

○中西委員 66ページの委託料の先ほど出ました顧問弁護士委託料、これまでは、かつては弁護士さんはお一人だったような気がするんですけども、これはいつから2人になったのか。それから、それぞれの弁護士さんのお名前は何かとおっしゃるのでしょうか。

○青木総務課長 いつから2人になったとかというのは、今すぐには分かりません。

お名前のほうは、石井弁護士事務所と小林法律事務所の2か所を予定しております。

○中西委員 その上の職員研修委託料、昨年は167万2,000円、本年度は半分以下になっているんですけど、職員の皆さんの研修は大丈夫でしょうか。

○青木総務課長 確かに金額が減っておりますけども、職員係のできる研修等もありますので、そういったところは自前で研修していけたらと考えております。

○中西委員 14番の使用料及び賃借料、職員住宅借り上げ料、昨年が292万5,000円、ここが大きく動いてますんで、その理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○青木総務課長 本年度はもう一か所、東京に派遣を予定しておりますので、1つ増えておりますので、その分予算が増えております。

○中西委員 東京のどちらへ派遣が増えるんでしょう。

○青木総務課長 国に行きます。

○中西委員 国と言ってもいささか広うございますよね。例えば、農林省へ行くのか、厚労省へ行くのか、総務省へ行くのか、内閣府に行くのか。

○青木総務課長 まだ内示も出ていないので、場所は控えさせていただいて、国の機関ということで御了解ください。

○中西委員 東京事務所には2人もう既にいるわけで、また新たに国に行くというのは、どういう目的があるんでしょうか。

○青木総務課長 基本的には人材育成になりますけども、直接国の機関に入りますと、入ってくる情報も変わってくると思いますので、そういったところに素早く対応できるようということも一つあります。

○中西委員 それは情報漏えいにはならないんですか。

○青木総務課長 当然機密の情報は駄目ですけども、こういった補助がありますよとか、そういうところでいち早くそういう情報が得られるんじゃないかなというのは考えております。

○中西委員 一抹の疑問を残したまま、これをやるとすごい時間がかかるんで、これまでにします。

○石原委員 前のページになるんですけども、職員手当、動きが大きそうなのが幾つかですけど、上から5つ目の特殊勤務手当、こちら今年度と比べてどういう形で、かなり増額になっとなるかなと見てとったんですけど。

○青木総務課長 今既にクレアでパリに1人行ったりします。来年度、クレアからまたニューヨークに行きますので、その分の在勤手当になるので増えております。

○石原委員 今はパリへお一方、6年度はニューヨークへもう一人ということで。

それから、下から2番目の地域手当、こちらは何か逆にほぼ半減のような形なんですけれど、この動きについてお聞かせいただければ。

○青木総務課長 来年度の予算としては、東京に2人分と、名古屋事務所に行っていますので名古屋に1人、3人分を予定して計上しております。

○石原委員 その上のお給料のところで、真ん中の一般職給料、こちらもろもろ事情もあるんでしょうけど、この中に引き続き令和6年度も特定任期付職員の方、こちらからお二方ということでよろしいですか。

○青木総務課長 2人分入っております。

○中西委員 64ページの旅費、費用弁償が昨年が77万8,000円が今回327万3,000円になっとなんですけど、理由は何でしょうか。

○青木総務課長 総務で集約しました会計年度任用職員の費用弁償がこちらに集約されましたので、その分増えております。費用弁償は通勤手当のことです。

○中西委員 68ページの財産管理費で委託料、公会計財務書類作成支援業務委託料、昨年から見るとちょうど半分ぐらいになっているんですけども、これはこんなものでいいんですか。

○榮財政課長 補正予算の14号でもお示しいたしましたがけれども、実際に入札をいたしますと、かなりの額が下がってまいります。仕様書等の見直しも行っておりますので、労務単価の上昇を見据えても、このぐらいの額があれば入札にかけられるだろうという見込みでございます。

○中西委員 続いて、会計管理費の需用費で修繕料というのが上がっているんですけども、会計管理費のところで修繕料が上がる、何やるんでしょうか。

○三宅会計管理者 会計課の窓口には、レジを置いております。令和6年7月に新紙幣が発行されますので、それに対する改修を行うものです。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲は、72ページ、それから75の2款総務費、1項総務管理費の7目支所及び出張所費のみの範囲といたします。

○石原委員 支所及び出張所費で、1節、2節になるんですけど、つい先週ですか、現状の各支所の人員配置、職員配置の一通りお出しをいただきましたけども、令和6年度、何か職員配置で目立ったような動きとかあったりするんでしょうか。

○小川吉永総合支所長 機構改革の表は見ていますけれども、中の係とか人員配置については何も情報をいただいていない状況であります。

○中西委員 4ページの旅費、費用弁償が昨年から見ると半分ほどになっているんですけども、これはどうなんでしょう。

○森本委員長 費用弁償が下がっていることなんで、答えられるところからあったら答えて。総合支所で分かるところがあつたら。

休憩します。

午後1時20分 休憩

午後1時22分 再開

○森本委員長 再開いたします。

○瀬尾三石総合支所長 三石総合支所に関しては、会計年度任用職員の通勤手当が10万1,000円減額となっております。

○竹林日生総合支所長 日生総合支所におきましても、会計年度職員の通勤手当が4万2,000円減額となっております。

○小川吉永総合支所長 吉永総合支所の場合は、通勤手当が逆に7万円上がっております。遠いところから来とる職員もごく僅かですけどいますんで、ほとんどの人間は近く、吉永地域なんですけども、旧備前地域からの人間が2人いますので上がっています。

○中西委員 その下の委託料、消防設備点検委託料、昨年が3万4,000円、今年5万円上

がっているんですけども、大変金額にするような僅かなものなんですけども、こういうところが金額があまり変わるようなことじゃないんで、お聞かせ願いたいと思います。

○森本委員長 委託料の消防設備点検委託料でよかったんですよね。

○小川吉永総合支所長 吉永総合支所では、約8,000円ほど上がっています。これは業者から見積を取った結果、若干金額が上がっているということで、昨今の人件費の上方につながっているのだと考えております。

○瀬尾三石総合支所長 三石総合支所に関しては、本年度と来年度、同額でございます。

○竹林日生総合支所長 日生総合支所は、4万1,000円の増額となっております。

○中西委員 4万1,000円の日生の委託料の値上げの理由は何でしょうか。

○竹林日生総合支所長 昨年からいいますと、本来であれば落ちるんだとは思いますが、委託先から今年度予算の見積を取ったときに、見積が高くなってましたんで、その分を上げさせていただいております。

○中西委員 相見積りは取っているんですかね。

○竹林日生総合支所長 相見積り取っております。

○中西委員 相見積り取っても4万1,000円値上げになるんですか。

○竹林日生総合支所長 人件費でありますとか、その辺のことを鑑みて値上げが申し出られたところで、その中でも一番低いところを選ばせていただいております。

○中西委員 その備品購入費なんですけど、設備備品というのは、何なんでしょうか。

○小川吉永総合支所長 吉永総合支所関係の施設備品ですけれども、現在支所には冷蔵庫があります。冷蔵庫がまるっきり壊れていまして、冷凍庫の部分が冷蔵庫になって氷を作ることができない状況になっているという、冷蔵庫を買う費用と、それから有害鳥獣を捕って、その尻尾を見て頭数を最終的に計算してお金を支払うことになっているんですけれども、イノシシや鹿などの尻尾を入れるための冷凍庫がないということで、合わせて12万円計上をさせていただいております。

○松本委員 予算書を見ると、いろんなところに電算システム云々とか、何とか委託料とか出てくるんですけど、これからDXを進めていく上で、いろいろなところに出ると思うんですけど、これ一回、今でなくてもいいですけど、どれぐらい電算システムとかシステムの委託料というのが役所全体というか、備前市全体でかかってくるんか。

今日じゃなくてもいいですけど、これに関連して、何かあらゆるところに出てくると思うんですよ。これがどれぐらいあるんか一回知りたいですけど。意見というか、答えなくてもいいですけど。

○森本委員長 各部署担当の方皆さん、そういう御意見なので覚えておいてください。

○尾川委員 75ページの委託料、害虫駆除委託料が今回上がっただけですけど、金額はあれとして、この害虫駆除委託料の内容を教えてくださいんですけど。

○小川吉永総合支所長 昨年度の夏は非常に暑くて、スズメバチの巣がたくさん出ました。吉永地域だけでも約10か所ぐらい出て、その駆除には軽トラで行って、窓を開けて、それ用のスプレーをかけて、それでぱっと窓を閉めて、死ぬまで待つような、そういうことをやっていたんですけれども、相手がスズメバチということは人命に関わることも十分に考えられますので、今年度、1回2万円掛ける消費税ということで計上させていただいております。

○尾川委員 それが私か公か、その辺の区分というのはどう決めとるんですか。

○小川吉永総合支所長 全て市に関係する土地であつたり、施設であります。個人地につきましては、そういう業者がありますよということを紹介させていただいております。

○尾川委員 市全体としてそういう申合せというか、一つのルールというのは確立されとるわけ。決して変なことをしようという意味じゃねえよ。

○小川吉永総合支所長 言い切れる分がないかもしれませんが、前任の都市計画課にいたときも、ちゃんと業者を紹介をして、そこが民地か官地か、それを確認して、官地なら、簡単な小っちゃなものであつたら自ら職員が行って、ちょっと規模が大きいものについては業者に頼むようにしておりました。

○尾川委員 タイミングというか、時間の問題とか、場所の問題で遅れたり、早うなったりするようなことのねえように、ようその辺をコントロールしてもらいたいというのがこの質問の趣旨なんです。それと、もう一つは最初害虫というから書類の害虫かなと思うたりしたんです。そういうスズメバチとは思ってなかった。こっちの者はいろんな推察するんで、できるだけいろいろ苦情を聞くんじゃないけど、差があつちやならんと思うとんですわ。だから、できるだけそういう、誰かがこうこうじゃという一つの意味統一をぜひしてほしいなというので、扱いについてね、その辺意見を教えてもらおうたらと思うんです。

○今脇総務部長 現在もそういう官と民との区別というのはできていると思っておりますが、機構改革で御承認もいただきましたように、来年度からすぐやる係というものができますので、そういったところはそこで管理をして統一していきたいと考えております。

○中西委員 スズメバチの駆除なんかをすぐやる課がやられるんですか。

○今脇総務部長 何をして何をしないとかっていうのはございませんので、できるだけ何でもすぐに対応できるようにしていきたいと思っております。

○中西委員 念のために、スズメバチなんか出れば、そこのすぐやる課にお願いに上がればよろしいですか。

○今脇総務部長 要望とか、こうしたことをしてほしいというところの窓口の部署になると考えております。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただきます。

次、８２ページ、２款総務費、１項総務管理費、１６目諸費から９２、９３ページの２款総務費、６項監査委員費までを範囲といたします。

○尾川委員 ８５ページの負担金補助及び交付金、地方税共同機構負担金が８６万円、これ今まで初めてじゃねえかと思うんですけど、どういう目的で、今までもあったんかどうか分かりませんが、どういうことをやるんか、内容について説明してもらいたいです。

○星尾税務課長 この地方税共同機構負担金の８６万円、この負担金及び補助金交付金の下から２行目にも同じものがあるかと思います。下から２行目の分が令和５年度までもあったもので、要はe L T A Xといいまして、電子納付であるとかの取りまとめをしているところに対する負担金ではあります。令和５年度より共通納税の拡大に伴いまして、市民税であるとか軽自動車税、あと固定資産税の納付書にＱＲコードがついたものが発行されております。それをコンビニであるとか銀行さんへお支払いいただくと、銀行から共通納税、共同機構を介して市に入金されるような仕組みになっております。その要は手数料につきまして、これが翌年度精算ということになりますので、令和５年度に使用した分につきましては令和６年度に請求が来るというような形で、対前年度比で８６万円増額になったような形であります。

○松本委員 ８３ページの電算システム改修委託料、具体的には何をどうするんですか。

○星尾税務課長 この諸費の電算システム改修委託料、先ほどもお伝えした定額減税に係るシステムの改修を行うものでございます。１人当たり１万円減税、プラス扶養があればそれに伴うものも１万円減税するという仕組みを改修するものでございます。

あともう一点が、定額減税し切れないもの、所得割が５，０００円しかない方については定額減税し切れないので、その方については税を引くのではなくて給付しようというような仕組みになります。そのシステムの改修も併せて行うというものでございます。

○松本委員 これがそんなに難しいことかなと思うんですよ。七百何ぼですか。内容を聞いたら単純なことなんだけど。何となく例えば、システムエンジニアとか、そういうエキスパートを、例えばですよ、雇ったらこんなことぐらいすぐするんじゃないかなと思ったりもするんです。これ素人考えかも分かりませんが。何かあまりにも電算システムの改修だとかなんとかとか、いろいろ多いんですよね。だから、総務でこういうことがちょっと、さっき一例ですけど、システムエンジニアとか、そういうことで何か対応できんのか。そしたら、こういう費用なんか何人分でも浮くんじゃないかな、人件費。

○今脇総務部長 まさに松本委員おっしゃるとおり、システム関係、それから保守とか、システムに関するような費用というのは、すごく予算の中でかなりなところを占めているのではないかと考えております。これからＤＸを進めるに当たって、共通システムというか国が提供するその仕様に従って２７の事業についてガバメントクラウドというところに入れて改修をしていくんですけども、国の狙いとしてはその後の保守であるとか、そういったランニングコストを抑えていくという、そういう狙いがあるって進めているところなんです。

市としにしても、これが結構なところで費用を占めているので、今おっしゃったように、専門のシステムエンジニアであるとか、そういった人材を活用してできるところは市でやっていきたいということは、予算編成の時期からそういうところは考えていっているところであります。

○中西委員 84ページの賦課徴収費委託料、納税通知書作成業務委託料、昨年度が657万4,000円の予算ですけれども、今回は130万円ほどですか、減額になっているんですけども、大丈夫でしょうか。

○星尾税務課長 令和5年度の予算についてなんですが、令和5年度の当初賦課の納税通知書の作成プラス令和6年度の固定資産税がつい先日当初賦課を行いまして、令和5年度中に納税通知書等作成をしております関係で、要は令和5年度の予算の中に令和6年度の固定資産税分も入れた債務負担のような形で657万4,000円計上しております。その分が令和6年度の当初の固定資産税分が抜けた分で差額が約130万円ほど減額になっております。

○奥道委員 同じ場所なんですけれども、固定資産税評価替え電算処理委託料というのが去年は計上されているんですけど、今年はないのは同じような理由ですか。

○星尾税務課長 固定資産税、3年に1度の評価替えがあります。令和6年度が評価替えの年になりますので、それに合わせて令和5年度はデータシステムが必要でありましたが、令和6年度はもう評価替えが終わっていますので、ゼロということになっております。

○森本委員長 ほかに質疑のある方。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただいていいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次、152ページ、8款土木費、6項住宅費、2目住宅新築資金等貸付事業費から最後まで、189ページ、14款予備費までを範囲といたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体を通して質疑漏れはございませんか。

○石原委員 57ページの総務費雑入で上から5番目に派遣職員さんの給与費負担金3,710万9,000円ですけれども、こちらさっき総務課長言われた、パリに加えて新たにニューヨークにという方々に対する負担金ということでよろしいですかね。

○青木総務課長 委員がおっしゃられたとおり、クレアで行きますので、その分の派遣の助成金と、あと先ほど言いました文化芸術財団にも派遣の予定でありますので、その分の負担金が入っております。

○石原委員 その内訳って御説明いただけたりするんですか。パリに係る分がこれだけとか、ニューヨークがこれだけとか、財団がこれだけとか。

○青木総務課長 海外に行く分の内訳が882万円と、あと文化振興財団が2,828万9,000円を予定しております。

○石原委員 海外の方、お二人合わせて８８２万円と。

○青木総務課長 はい、２人合わせてでございます。

○中西委員 今のところで、ニューヨークへたしか行かれるというんですが、これはクレアからニューヨークに行くんですか。

○青木総務課長 現在クレアの東京の事務所におりますので、２年目からはそちらから海外に赴任するということになります。

○中西委員 クレアの東京事務所に１人いると、その職員がニューヨークに行くということなんですか。

○青木総務課長 そのとおりでございます。

○中西委員 それは４月からですか。

○青木総務課長 はい、４月からです。

○森本委員長 次、予算書の９ページを開いてください。

第３表地方債、所管別分類表は１ページをお開きください。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、議案第２号中の総務部、総合支所、会計課、監査委員事務局関係の審査を終わります。

説明員入替えのため、暫時休憩いたします。

午後１時４８分 休憩

午後２時１０分 再開

○森本委員長 委員会を再開します。

***** 議案第１７号の審査（市長公室、総合政策部） *****

次に、議案第１７号令和５年度備前市一般会計補正予算（第１４号）中、市長公室、総合政策部関係の審査を行います。

座席表は２枚目のものを出してください。

まずは、歳入から行います。

補正予算書の２０ページをお開きください。

範囲は一括で行います。２０ページから最後、２８、２９の２２款諸収入、５項雑入、５目雑入までを範囲といたします。

○中西委員 ２６ページの一般寄附金、企業版ふるさと納税寄附金、ここで大きな金額で減額補正がされているんですけども、納税をされた方、本当にありがたいと思うんですが、ここで納税をされている人たちというのは、業種とか、あるいは目的とか含めて、こういった思いで納税をされているのでしょうか。

○桑原ふるさと納税課長 企業版に関しましては、多くの方から備前市への支援ということで御寄附をいただいております。中には、こういう事業でというようなところでお話をさせていただ

く中で御寄附に至ったようなケースもございます。企業様によってケース・バイ・ケースというところもございますが、快く御寄附に至っているという状況で、当初予算からは大きく下回っているところではございますが、企業様には感謝をしているところでございます。

○**中西委員** 寄附してくださった方からすれば、いろんな思いがあるでしょうけども、こういうものに使ってほしいとか、こういう事業をやってほしいとか、そのあたりは。

○**桑原ふるさと納税課長** 今回事業に充当させていただいておりますが、備前焼の関連でありますとか、その他、次年度令和6年度の予算充当というところで考えているようなところもありますし、教育の部分での御支援といったようなところでございます。

○**中西委員** ふるさと納税をされた方たちは、やっぱり東京とか、地域的にはどういうところが多いんでしょう。

○**桑原ふるさと納税課長** まちまちでございます。県内の方もいらっしゃる、東京、名古屋といったような企業様もいらっしゃいます。

○**森本委員長** ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

続きまして、歳出に移らせていただきます。

32ページをお開きください。所管別分類表は7ページです。

範囲は、32ページの2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から2款総務費、5項統計調査費までを範囲といたします。

○**中西委員** 32ページの企画費の委託料、スマートフォンの貸与事業、年齢別集計貸与実績となっているんですけど、この申請者の貸与実績の僅かな違いですけども、これは何なんでしょうか。時間の問題なんでしょうか。

○**國光事業推進課長** 申請者数と貸与実績の差異ですかね、それはネット等で申請してこれて、まだ取りに来てもらっていない方もいらっしゃる、お金が僅かばかりも要るので、お金の工面ができたなら取りに行くと言われる方もいらっしゃる、その辺があらうかと思います。

○**森本委員長** ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、54ページ、9款消防費、1項消防費から60、61ページの13款諸支出金、2項基金費、1目積立金までを範囲といたします。

○**中西委員** 34ページの国際交流、減額補正ですけども、当初の予算に対してみると、かなり大きな減額補正なんですけど、市長もヨーロッパ旅行に行かれたり、ニューヨークに行かれたりして、海外は熱心に取り組んでおられるんですけども、ここでの国際交流事業補助金の減額補正の理由についてお聞かせください。

○**馬場企画課長** この国際交流事業につきましては、子供たちの派遣と受入れ、隔年でやっております事業の一つとなります。5年度につきましては、オーストラリアに派遣、それからアメリ

カと韓国からは受入れをしております。

減額の理由といたしまして、まずオーストラリアの派遣でございますが、渡航費が当初思っていたよりも2万円程度安くなっております。こちらにつきましては、足りなくなっても困りますので、少し多めに取っていたのはありますので想定どおりではありますけれども、20万円ほど減になっております。

続きまして、アメリカからの受入れにつきましては、当初見込んでおりましたのは子供さんが14人とそれから付添いが4人は来られるかどうかまだ不明だったんですけども、メンロパークの市長様御一行が来られるかもしれないということで、その予算を見積もっておりましたが、結局のところ市長様御一行が見えられなかったのと、子供さんが、中学生が14人が8名、それから随行が4名が2名ということで、この分減額となっております。また、送迎につきまして、関西国際空港まで迎えに行き送っていく計算をしておりましたが、実際は岡山空港に来ていただいたので、この分が大分減額となっております。それから、市長さんが来られるということで通訳のお金も見積もっていたんですけども、こちらのほうも来られなくなったということで要らなくなったということで、トータルして大きな減額となったということでございます。

○森本委員長 範囲は54ページの消防費からですのでお願いします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出を終了させていただきます。

続いて、7ページをお開きください。所管別分類表は1ページをお願いいたします。

一番上の市歌作成業務及び東備消防組合負担金が該当しますので、質疑のある方はどうぞ。

○石原委員 委員長が言われたどちらも、参考までに状況をお聞かせいただければ。

○馬場企画課長 市歌の作成についてでございますが、当初、他市町の例に倣いまして、プロボイザルによって選考を考えていたんですけども、本市には本市出身の著名な作曲家の先生がいっぱいいらっしゃいますので、作曲はその先生にお願いすることを前提として、市歌の作成の方法等につきまして再検討等行いました。作詞を誰にするか、それから歌い手さんをどなたにするか、それから全体のプロデュースをどうするか、それからせっかく作るんでありますので、始業時間、終業時間、それから昼休憩等の前のメロディー等も作っていただくことが可能かどうか、それからこちらのほうも研究したところですが、カラオケDAMでに歌を入れることができるか、それから発信していく上でユーチューブ動画の作成でありますとか、SNSによる発信をどうやっていくかなど、研究、検討等に時間を要しまして、今年度中の作成が難しくなったものでございます。

○竹林危機管理課長 東備消防組合負担金、本年度実施しております東備消防の指令台の改修事業がおおむね作業については年度末で完了する予定ではあります、通信回線の切替え作業、それからそれに伴う点検が4月以降に持ち越しとなるというところで、それに伴う負担金を繰越し

とさせていただきます。

○森本委員長 ほかありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体を通してはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で議案第17号中、市長公室、総合政策部関係の審査を終わります。

***** 議案第2号の審査（市長公室、総合政策部） *****

次に、議案第2号令和6年度備前市一般会計予算中、市長公室、総合政策部関係の審査を行います。

まずは、歳入から始めます。

予算書の24ページをお開きください。所管別分類表は2ページです。

審査範囲は、24ページの15款使用料及び手数料、1項使用料から38、39ページの17款県支出金、2項県補助金、1目総務費県補助金までを範囲といたします。

○中西委員 34ページの国庫支出金、総務費委託金、ここで自衛官募集事務委託金というのがあるんですけども、どのようなものに使われているのでしょうか。

○竹林危機管理課長 広報紙へ自衛官募集の案内を例年掲載させていただいております。

○中西委員 備前市の広報紙に載せると、年に何回載っているのでしょうか。

○竹林危機管理課長 例年、年1回掲載させていただいております。

○西上委員 39ページの11節自治振興費補助金で、少子化対策重点推進交付金、地域少子化対策重点推進交付金事業と縁結び事業ということですが、教えてください。

○馬場企画課長 少子化対策重点推進交付金事業につきまして、2つの事業で構成されております。まず、企画課で行っております縁結び事業として、婚活イベント等を行ったときにいただける補助金でございます。

それからもう一つが、土地住宅政策課がやっております結婚新生活支援事業につきましては新婚の方で新しい新築の住宅を購入したりとか、借り上げたりしたときにいただく補助金ということとなっております。

今年度につきましては、縁結び事業につきましては、瀬戸内市との合同で1つのイベント、それから備前市単独で2つのイベントを計画しております。

結婚新生活支援事業につきましては、他課のことになるんですけども、29歳以下の御夫婦の方に対する補助金が3件、それから39歳以下の新婚さんに対する補助金が5件と見積もっております。

○西上委員 新婚生活支援事業というたら、どちらかや産業課での事業ですかね。

○馬場企画課長 土地住宅政策課になります。

○西上委員 縁結びですけども、さっき課長が昨年もやられた瀬戸内市との支援協議会には年

に何回言われた、2回ですか、1回。

○馬場企画課長 三、四回は開いていると思います。

○西上委員 東備西播定住自立圏の協議会は何回言われました。

○馬場企画課長 東備西播定住自立圏の縁結び事業につきましては、昨日行われまして、男性12名、女性12名の参加で、5組のマッチングができたと聞いております。昨日ありました。

○西上委員 昨日あられて、5組のマッチングということで、昨年の瀬戸内市、備前市との分の出会いの場をつくったということで、こちらの成果が分かったら教えてください。

○馬場企画課長 では、令和4年度につきましては、備前市、それから瀬戸内市で1回ずつやっております。備前市では、日生のうみラボでバーベキュー、それからスキルアップセミナーを開催いたしまして、男性15名、女性11名の参加でカップル5名成立。それから、瀬戸内市では、長船美しい森で開催して、たき火でありますとかスキルアップセミナーを開催いたしまして、男性10名、女性10名でカップル成立は5組となっております。

○西上委員 成果ということで、カップルになった人は、分かったらお願いします。

○馬場企画課長 今言ったカップル10組ですが、その後、進捗しているということは聞いておりません。

今年度備前市で1回やっておりますが、そのときには4組が成立して、今現在まで2組残っているような状態は聞いております。

○西上委員 ユーチューブを見ましたら、熟年のカップルさんが婚活パーティーがあったり、日帰り旅行があったりして、よう出てくるんですけど、結構人気がある商品だなということなんですけれども、こういう熟年者対象の婚活パーティーみたいなものは企画することはできないでしょうか。

○馬場企画課長 考えられないことはないんですけども、備前市としては子供を増やしたいということもございますので、やはりターゲットは20代、30代、40代前半までかなというのはあります。やはり30代ぐらいまでが女性の体にも負担が少ないので、こちらのほうまででマッチングしていただいて、その後、結婚していただければ一番の成果かなとは思っていますが、今委員おっしゃられたようなことも考えられなくはありませんので、また検討させていただきたいと思います。

○中西委員 36ページの移譲事務県負担金、227万5,000円が交付されているんですけど、具体的にはどういう事務の中に使われるのでしょうか。

○馬場企画課長 移譲事務であります。かなり多岐に及んでおります。鳥獣の飼育の登録でありますとか、それからパスポートの発行でありますね、それから大きいものと言えば、農地転用の許可でありますとか、こういうものが大きいものであります。何十項目に及んでおりますので、また詳しくは紙ベースでもお示しできたらと思います。今回につきましては、パスポートの申請等がかなり減っているということで、20万円弱減っているということとなっております。

す。

○**藪内委員** 30ページ、国庫支出金、1目総務費国庫補助金、1節企画費補助金、スマホ教室に係る予算だと思うんですが、この事業内容を。

○**國光事業推進課長** 国のデジタルリテラシー向上事業ということで、文科省がやっている事業でございまして、誰もが、いつでも、どこでもデジタル化の恩恵が享受できることが重要だということで、文科省が主にはお年寄りを中心に、想定しているのは公民館等、皆さんが最寄りのところでいろいろ身近な人から聞けるっていう場をつくるっていう目的で文科省がやっている事業。補助率は10分の10でございまして、今回スマホを配布したということもありまして、いろいろ補助金を探したところ、これが一番いいだろうというところで、公民館とか地元のNPOさんとか、そういう方にいろいろお願いしたり、今後公民館活動の中で公民館の館長さんとか主事さんにそういう、ちょっとお年寄りの方とかが寄って相談に乗れるようなことも想定してまして、養成講座というんですかね、NTTさんとかに協力を依頼して、公民館の館長さんとか主事さんとかにも養成講座を開催したと、そういうことができる補助金でございます。

○**藪内委員** 講師はどなたか分かりませんが、1万2,610円ですかね、かなり高額な感じだと思うんですけど、講師の人は、さっき言われた館長とかも該当するということですか。

○**國光事業推進課長** 講師の方は、例えば日生でやっている寒河の一般社団法人でやっているところだと、1こま当たり1万2,600円が上限なので、3人程度、そこにかかってやっています。1こま当たり1万2,600円という国の上限を基にやっていただいているという状況なので、1人の方にそのお金を払っているという状況ではないです。

○**藪内委員** じゃあ、3人でやられた場合は、それを3で割るみたいな、単純にいうとそういうことですね。

○**國光事業推進課長** 請け負っていただける団体の都合にもよりますが、いろいろ機器をそろえたりとか、若干市外から来られる方もいらっしゃるからその経費であるとか、そういうのも全部含めたもので賄ってくださいねと、1時間当たり1万2,600円で賄ってくださいねというところでやっております。

○**森本委員長** ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、40ページ、17款県支出金、2項県補助金、8目消防費県補助金から50、51ページで2款繰入金、2項基金繰入金までを範囲といたします。別紙3と別紙4を参照してください。

○**青山委員** 40ページの消防費県補助金、水防費の補助金です。

岡山県の防災まちづくり相互支援事業の補助金ということで上がっているんですけど、若干昨年より下がっているようなんですけど、この内容を教えてください。

○**竹林危機管理課長** 自主防災組織の活動助成金等に対する県の補助金となります。

歳出で166万2,000円程度見込ませていただいております、そちらの2分の1につきまして、こちらへ計上させていただいております。

○青山委員 これは、例えば各地区、自主防災組織なんかあると思うんですけど、そういったようなところで何か使えるものではないんですか。

○竹林危機管理課長 自主防災組織で訓練等される際に資機材等整備するといったときに、こちらを活用いただいております。

○青山委員 手続について簡単に教えていただけたらと思いますけど。

○竹林危機管理課長 自主防災組織が訓練等計画されるということで、こちらへお話しいただければ、そういった申請書類を案内させていただいて、申請いただくということで事業実施をしていただくようになります。

○青山委員 最後ですけど、1件幾らとかというふうな上限とかというのはあるんですか。

○竹林危機管理課長 そちら世帯数によって限度額は決まっておりますので、最低でいきますと50世帯以下ですと7万円でありますし、350世帯以上で30万円上限、その間でそれぞれ世帯数に応じて限度額が決まっております。

○青山委員 1世帯7万円で、350世帯以上だと30万円ということだったんですか。

○竹林危機管理課長 50世帯以下ですと7万円、こちらが一番少ないです。

○中西委員 別紙3、ページでいくと44ページになるかと思うんですけど、財産貸付収入で物品貸付収入、デジタル推進課が金額が2万2,000円なんですけども、この貸付けは何なんでしょうか。

○文田デジタル推進課長 市がっております光ファイバーを一部NTTドコモさんに携帯電話の伝送路としてお貸ししているものになります。

○中西委員 貸す理由は何なんでしょうか。

○文田デジタル推進課長 携帯電話の伝送路の地域につきましては、吉永町の和意谷の地域に平成21年に基盤整備の情報通信基盤整備推進交付金として国庫の補助金を活用して、不感地区です、携帯電話の通じないエリアの解消をしようという事業で整備した後、公設民営として導入しましたので、以降NTTさんへ携帯電話の伝送路を貸し付けるということで財産収入を計上しております。

○青山委員 42ページの総務費県委託金、5節の基幹統計費委託金の一番下の全国家計構造調査委託金、新しく入ったと思うんですけど、どのようなことをするんでしょう。

○馬場企画課長 家計の実態を調査して、世帯の所得、消費、資産に関する基礎資料を得るということを目的とするものでございます。

調査事項としましては、収入、支出、貯蓄、借入金、就学状況、現住所等々を調査することとなっております。調査時期としましては、令和6年10月から11月を予定しております。

○青山委員 対象はどういったようなことになるんですか。

○馬場企画課長 今資料を持ち合わせておりません。また、お答えさせていただきます。

○青山委員 もう一つ、かなり個人情報といえますか、そういったような形になると思うんですけど、国勢調査なんかも地区の方に委託したりするんですけど、これどういう方が調べられるようになるんですか。郵送とか何か、そういう形ですか。

○馬場企画課長 調査員の方をお願いして調べることとなっております。

○森本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、52ページ、22款諸収入、5項雑入、5目雑入、52ページから59ページまでです。別紙5を参照にしてください。

○藪内委員 56ページ、22款諸収入、31節総務費雑入、別紙5番の事業推進課、178万2,000円、内訳をお願いします。

○國光事業推進課長 これは備前市電子地域ポイントに参加していただいております参加店舗に端末とかシステムを利用していただく利用料として月々、端末店舗ですと880円、QRポップだけ置いていただいている店ですと330円の使用料をいただいて運営しております。その収入でございます。

○藪内委員 細かいですけど、何件みたいなことは分かりますか。

○國光事業推進課長 今現在ですと、端末店が95店舗、QR店舗が19店舗で、トータルが113店舗で、1件QRでもあり端末でもあるのがあるので113店舗です。

○森本委員長 ほかに質疑のある方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳入は終わらせていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

歳出に移らせていただきます。

範囲は64ページ、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から72、73ページ、2款総務費、1項総務管理費、6目企画費までを範囲といたします。

○中西委員 先ほどの66ページの使用料及び賃借料の職員住宅借り上げ料、これは当初の予算で292万5,000円、事務所の借り上げ料と宿舍の借り上げ料がそれぞれ増額になっているので、理由を教えてください。

○今脇市長公室長 まず、宿舍の借り上げ料です。東京事務所の宿舍ですが、これが10万5,000円と10万円と、ちょっと大きさが違うんですけど20万5,000円になります、合わせて。12か月で246万円という形になっています。それから、名古屋事務所ですが、これが7万9,000円掛ける12か月ということで、これが105万3,900円になっております。合わせて351万3,900円という形になっております。

それから、事務所です。東京事務所は1万2,000円で12か月の、これ2人分のスペース

ということで、31万6,800円。それから、会議室を借りるのを915円掛ける3時間掛ける12か月ということで3万2,940円ということで、東京事務所が34万9,740円。それから、名古屋事務所が1万3,200円の12か月で15万8,400円、それからこれも会議室が440円掛ける2時間、これ10回という見方をしております。8,800円。合わせて16万7,200円となっております。事務所借り上げ料全体で51万6,940円ということで、51万7,000円という形になっております。

去年は途中から名古屋に遅れて行っていますので、そのあたりもありますし、単価の見直し等もございます。

○**中西委員** 東京事務所の宿舍借り上げ料、これ2部屋あるんですね。1つ、今お伺いしたのは20万5,000円掛ける12は伺ったんですけど、もう一つのほうが聞き取れなかったんで。

○**今脇市長公室長** 10万5,000円の部屋と10万円の部屋があるということで20万5,000円になるということです。合わせて20万5,000円の12か月という形になっております。

○**尾川委員** 67ページの負担金補助及び交付金、東京備前市ゆかりの会補助金、ちょっとアップしとるように思うんですが、どういう企画を考えられとんですかね。

○**今脇市長公室長** 5年度が80万円で、100万円に6年度上げる予定でおります。今ととり・おかやま館のほうの会場が2階が80がぎりぎりということで、今後こういうことの事業の拡大といいますか、案内をする中で80人ぎりぎりでは危ないので、100人ぐらいが入れるところをということで、今そういう施設を当たっている中で100万円にしているというところがございます。

○**尾川委員** 人数、今100人ほどというて言ようんですけど、どのくらい来て、それからどういう内容のことをやっていきよんかなと。

○**今脇市長公室長** 今のととり・おかやま館が80人規模のところで、80人ちょっと切れるぐらいで今年いっております、70人少々でいっているんですけども。本当のところは100万円にしているんで100人とかどうかというのはちょっとあれなんですけど、もうちょっと入れるところをしたいということで、東京近辺の人と岡山の人とどちらでももちろん会員、ただで入れたらいいですけども、東京の人にしてみたら、岡山から来て、集まってきて、こういう郷土の話もちろん盛り上がりますし、発展の話、東京から見た岡山のまちづくりのような話もちろんできますし、それから東京の中でのそれぞれ岡山にゆかりのある人が東京の中に住んでいる人の中の発展もあるし、ベクトルが東京岡山間と東京近郊の中と、両方のベクトルができますんで、イベントとしてはこれをというイベントはまだこれから企画になると思うんですけども、一番やっぱり交流に力を置いている形にはなっているかなと思っております。

○**尾川委員** これはこういう形のものを岡山県もやりようと思うんじゃないけど、それとは一緒にはやりようらず、別に企画して開催しとるということなんですかね。

○梶藤市長公室参与 岡山県にも東京岡山県人会というのがございまして、そちらでも年に1回、会を開催されております。その会は結構大きな会になってしまっている状況があると思います。あまり大きくなり過ぎると、かえって話も届きにくいとかという部分があって、じゃあ備前市の中でというのがなかなか話がしにくい状況というのは、私が行った中では感じておるところで、やっぱりある程度、備前市の中で100人前後で小ぢんまりとした中で濃い話ができると、何人もの人と接触できると、備前市ゆかりの人ということが会の密度につながっていくのかなと私どもが考えて、備前のゆかりの会というのを設けていると思います。

○尾川委員 今でもこういうのは効果あるのかな。今でも岡山県出身じゃというて、そういう何かプライドというか郷土愛というんか、そういう意識というのは今頃、若い人というか、どの程度の年齢の人が集まりよんか知らんけどね、昔は12時間も14時間もかかって東京に行きよったが、昔はそういう東京へ集まってくるのは同郷意識というのはあったかもしれんけど、そういうのは本当効果があるのかな。どこともやっとな。県はやりようじゃけど、各自治体で別々にそんな企画して本当効果があるのかなと思って、それより個人的にアタックしたほうが、かえって同じ金を使うんじゃないかなと思うほうが早えんじゃないかと思うたりするんじゃないけど。

○今脇市長公室長 岡山県出身の東京で活躍されている人に、備前市から特に行かれている人に会えるというのは年に1回、同窓会ではもちろんないですけど、年に1回会えるというのは、新しい情報であるとか、すごいそれが手に入る機会ではあると思っています。

東京の人の中でもやり取りができるというのは、すごいメリットがあって、やっぱりきっかけがないと集まってというのが、このときこれがあるというのが、私は効果があるんじゃないかなと思っています。やっぱり経済界、産業界、日進月歩ですから、そういう中で情報が入っていくというのは非常にいいかなとは思っております。

○尾川委員 逆にね、子供が帰ってきてくれという活動したほうが、どの程度、備前市の出身の子が東京まで出ていったんか、東京出ていったら帰ってこんのか、よう分からんけどね。そういう人を相手して、仕事もあるけど、そういうことも比較の中身に、こっちへ帰ってきてくれえというふうな、若い人に帰ってもらえんかというような活動を、そういう幅広い活動を、何か仕事をさせてもらって国交省に仕事ちょうでえいうようなこと、あまり今頃はそんなこと聞かん時代になっとる。下手しょうたら、東京ででええやりようるけえね、議員が。あんなことになるよりは、そういうことも目先変えて、同じ金かけるんなら若い人に備前へ帰ってもらうようなことの比較はどうですかね。

○今脇市長公室長 まず1点目に、東京のそういう企業で、岡山に例えばそういう企業の出先とかそういうのをつくっていただくいうのも、今の話聞いてあってもいいかなと思いました。

それからもう一つ、東京にゆかりのある人だったら、ただで誰でも会員になれるわけですから、もうちょっと、今これ100万円で会場ということでしたけど、もっともっと若い人も、今はどうしても成功している人がどうしても来やすいから来るんでしょうけど、もっともっと若

い、東京で活動して、就職してる人も集まって、郷土を振り返ってもらって、じゃあ、郷土へ帰ろうというような動きはあってもいいのかなと思います。参考にしていきたいなと思います。

○尾川委員 ですから、あまり備前市にすると数がどのくらいおるんか、県の寮なんか、今頃、県の育成寮とかというて、ようけいろいろあったん、精義塾、東大ばあ行く寮があったりしたんじゃ、昔はな。ようけ寮があったんじゃけど、今そんなあまり東大じゃどうじゃというたって、うるせえからそんなことしょうらへんと思います。そういう時代じゃから、もうちょっと備前市だけに、ある程度広げて、それがよそのほうへ金使うというのは難しいところあるんじゃろうけど、そういうちょっと目先、企画を何か考えて、仕事を、交付税をようけもらいてえというのはあるんかもしれんけど、その辺を少しばあ、今度日鉄の社長が総社の出身じゃけえな、そうかいうて総社の出身じゃというて、備前市が手を出しょうらあ、またどつかれるかもしれんし、そんなことであまり広げることも難しいかも分からんけど、それほど備前市も人材はそう限られとると思うんで、だからそういうことを若い人にもやっぱり声かけたりするようなことをぜひ、同じ話になるから、そういうことを考えられたほうがええんじゃねえかなという感じがあるんですけど。

○藪内委員 68ページ、2目文書広報費、14節著作権使用料、10万1,000円、内容をお願いします。

○則枝広聴広報課長 市制20年の歩みを現在作成しておりまして、山陽新聞の記事を掲載を検討、現在しております。山陽新聞社の著作物使用料としまして10万1,000円を計上させていただきます。

○中西委員 66ページの文書広報費のアドバイザー謝礼というのが13万円上がっているんですけども、これは何に使われるんでしょうか。

○則枝広聴広報課長 備前市制20周年を迎えることを記念しまして作成に当たっております市史編さん事業を円滑に進めるため、市史編さんプロジェクトチームを立ち上げます。そのアドバイザーとしまして、市の歴史や文化に知見を有する人に依頼させていただきまして、指導助言、または必要に応じて資料の提供を行っていただくため、謝礼金を計上させていただいております。

○中西委員 謝礼っていうのはこんなものでよろしいんですか。

○則枝広聴広報課長 こちらの謝礼につきましては、顧問という格好で1回開催するに当たって6,500円程度を予定しております。5名を4回の開催ぐらいを考えております。

○中西委員 どういうものを作るのかということによりますけども、一般的に備前市の市史20周年を作るに当たってのアドバイザーということになると、これだけで来てくれるというのはちょっと首をかしげるような金額で、本来ならもう少し金額が高いんじゃないかと、感想として思います。

○尾川委員 今言う市史編さんじゃけど、中途半端なね、そりゃ仕方ねえんで、もう時間ねえか

ら。宣伝用のパンフレットみたいなんばあじゃなしに、本当に備前市の歴史をきちっと検証するというか、まとめていただく、今和気郡史とかというのはあるんじゃないけど、それ以降というのは町ごとの町はねえんじゃ、どっちかというたら、あるところは知っとるように、伊部町史じゃとか片上町史とか、伊里はねえし。和気郡史はあるんじゃないけど、本格的な。こんな6,500円ぐらいで何回で何万円じゃ済まんけど、時間もかけてしかるべき人に依頼して、そういうことを、予算じゃねえわというて言われるかもしれんけど、そういうことを考えるというのはねえんかな。これも悪いことじゃねえんよ、ただ冊子じゃから、いつも宣伝みたいなんばあすんじゃないけどね、それより本格的な腰を据えた備前市の市史というのを、大体この近辺の自治体は持っとるけえな。だから、それをぜひ企画してもらうように、少々金かかってもええわというて偉そう言ってもおえんけど、そういう企画いうのを考えられんかなと思うて。

○則枝広聴広報課長 令和5年度の予算のときもお話しさせていただいたんですけれども、今考えております市史というのが委員おっしゃられるとおり令和7年3月22日市制20周年に向けての20年の歩みというものになってきます。詳しい市史になってきますと、どこの市町でも四、五年はかけ、先ほど中西委員からも委員報酬ということでありましたけども、アドバイザーと言われる方、歴史に詳しい方を、金額も高めで御依頼させていただくようになると思います。

この令和6年度におきましては、今現状ある資料に基づいて作らせていただきまして、先ほど和気郡史に続くような市史は今現状では考えておりませんが、また検討していければと思っております。

○尾川委員 地元を愛する心、郷土愛というのは、きちっと正しゅう理解するように、それにはやっぱり物差しが要るわけじゃ。きちっとした歴史を語る、語って、ある人の宣伝やこうじゃなしに、本当に備前市はどうだって、どういうことをしてきたかとか、こうあるべきじゃとかというものを、やっぱり歴史は語っとるわけじゃから、歴史をきちっと正確に押さえていくように、ぜひこの機会に、だから5年か10年かけていくんか、津山やこう、まだやりようあ。じゃから、そういう時間をかけてやらんと、やっぱりこら辺の会社も、れんが会社いっぱいあったけど、本当に社史を持っとるところというのは少ねえ。そうなる忘れられてしまうし、歴史がきちっと未来を語るわけじゃから、それをしっかりやってほしいというのが、ぜひこの機会に提案してもらいてえというのが意見ですわ、はい。何かあったら。

○今脇市長公室長 備前市の、歴史でいうと古事記、日本書紀みたいな史記とかありますけど、備前市のルーツをずっと遡って、有史以来からいければ一番いいんですけど。やっぱり1冊あるというのは大事だろうと思います。後々へつなぐのに、前が記録されてなかったら、全然途中から始まったみたいになりますので、改めてそういうのはまた、これは20周年でありますからこういう形ですけど、そういう予算をかけて、そういうのをするのも必要かなと思っております。

○土器委員 今、尾川委員がいろいろな意見言われているんです。一緒に考えたらどんなんか

と思うんですけどね。尾川委員なりの考えを持っとられるわけだから、一緒に考えてもろうてね、進めていったらいいんじゃないかなと思うんですけど。

○森本委員長 休憩します。

午後３時１１分 休憩

午後３時２４分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

○馬場企画課長 先ほどの全国家計行動調査の件でお答えできなかったことについてお答えさせていただきます。

調査の対象でございますが、国が抽出した対象地区、４地区だそうです。この中の全ての世帯が対象となっております。そのうち１２世帯を無作為抽出して調査表に記入を依頼することとなっております。

○森本委員長 それでは、範囲は７３ページまでです。

○尾川委員 備前緑陽高校のサポート事業で、どういうスケジュールで、こういうものあまり変わり過ぎたら、継続は力なりということわざがある、わし好きなんじゃけえね、何でもかんでもしつこうせえいう意味じゃないんだけど、こういう変更して、大体雰囲気分かつんじやけど、この辺で学校側の意見というのは、何も言わんと思うけど、何となし悟るところというのはどういうところがあるのかなと。今後のスケジュールと、それからそういう学校側のスタンスというんか、生徒なんかどういう印象を持っとんかなというのが気になるんじやけど。

○馬場企画課長 令和６年度の公募につきましては、前年と同様のスケジュールで行っていきたいと思っております。新入生の方には先週合格発表が出るとははずなんで、その中に説明の文書をつけて送らせていただいております。交付金の締切りが５月、９月、それから今年度は１月末だったんですけども、ちょっと先に少し延ばして２月半ばぐらいにして長めに期間を取りたいと思っております。

令和６年度のスケジュールはそれでいいんですけども、７年度に向けてということだろうと思うんです。やはりＰＲは早いほうがいいということは、学校の先生からも伺ってはおります。昨年度も本来はオープンスクールですとか、そういうものに間に合わせた形でＰＲ等はしていきなかったんですけども、定数等々の絡みの中でＰＲが遅かったということがありますので、今年度につきましては、また内部でよく調整しながら、出せるようであれば早めに出していききたいなどは考えております。

○尾川委員 今度２年生とか３年生はこの新しい事業に乗ってやるということ、去年の事業はもうチャラになつとるということになるわけ。

○馬場企画課長 １年生、２年生、３年生の方、全て通学費の補助は継続して行っていますので、在校生の方も申請していただければ、１年間で最大３万円まで、２年生も３年生も同じということでございます。

○尾川委員 去年出しとったんと違うが、一緒じゃねえじゃろう。

○馬場企画課長 通学費とそれから自転車の補助は、全く内容は変えておりません。なくなったのは、入学時費用の補助金が廃止ということにしております。入学時費用の補助金は、制服でありますとか体操服とか、それからタブレットとか、そういうものに対して補助金を出していましたが、6年度につきましてはそちらを廃止して、通学費と、自転車の購入費用の補助は継続して行うということでございます。

○尾川委員 それで、何かそういう反応というのはねえかなという意味もある、質問としてな。

○馬場企画課長 特には伺っておりません。なくなってどうしたんならというようなことも伺っておりませんし、どちらかといえば定期代についてはありがとうございますと、お礼の言葉をいただいているぐらいだとは思いますが。

○青山委員 サポート事業について、今日、資料に出していただいとんですけど、これ2月末現在ということで出ている、この中の先ほど言われました新入生の入学時の費用助成金、これが今年度はカットされるということ。その上でなんですが、先ほど早めに告示をして、それで有効に使っていただくということで、私一般質問で上げさせていただいたんですけど、オープンスクールあるいは学校訪問等で使えるということ、これ学校側も要望していると思います。

この結果を見ますと、案外市内の生徒が少ないなという感じがするんですけど、ここの例えば新入生130人、それから在校生234人、この市内市外の内訳というのは分かりますか。

○馬場企画課長 今すぐ細かい数字はないですけども、このうちの3分の2が市外、3分の1が市内と思っていただければ、ほぼ間違いございません。ですから、130人いますんで、四十四、五人、これは市内からの学生、さらにその四十数名のうちの約60%が公共交通機関を利用していると、残りの40%が自転車もしくは徒歩と思っていただければと思います。

○青山委員 来年度1,128万円という見積をされたと思うんですけど、去年は4,300万円、先ほど補正で2,200万円ということで、さらに来年は、見積としては入学時の助成金をカットしたということでこの数字になったのでしょうか。

○馬場企画課長 委員のおっしゃるとおりでございます。

○青山委員 ほかに使えるようなお金と、ほかの用途でですね、例えば学校がこういう事業を行いたいんだということに使えるお金はないんですか。

○馬場企画課長 今のところそのようなことは考えておりません。あくまでも通学費の補助を今年行っていくということでございます。

○青山委員 やっぱ学校がもっとこういうことをしたいということがあると思うんです。やっぱり学校の魅力化を図らないと定着はしません。そういったようなことをもうちょっと学校とも協議をされて、そちらのほうにお金を使えるような、そういう補助をお願いしたいと思うんですけど。

○馬場企画課長 緑陽高校の魅力化につきましては、推進協議会に市長、それから総合政策部

長、それから企画課長の私、それから教育委員会からも教育長、小中一貫課長、部長、これだけのメンバーで推進協議会に入っております、年に数回参加させていただいて、意見交換等、行っております。今月も1回開かれる予定です。そういうものの中で、学校等のお考え、それから意図等も酌みながら、補助金、出せる出せないというのは今ここでは言えませんが、意図を酌みながら今後緑陽高校の魅力化できるようにいろいろと考えていきたいと思っております。

○青山委員 ここに上がっているような状況を見て、効果はあったとお考えですか。

○馬場企画課長 効果につきましては、今年度の入学者数等々には反映してくることだろうと思います。今現在で、120名のところで106名、8名ぐらいがたしか決まっていて、あと十数名が次の第2次に回るのかなと、正確にはまだ合格発表の数字をつかんでおりませんので分からないんですけれども、120名の定員は今年は確保できるのかなと考えております。それが補助金が作用したかどうかというのは、なかなか分からんところであるんですけれども、一応目標は達成できているのかなとは考えております。

○青山委員 定員に対する入学者数ということで、今年度も近い調査ではかなり切れとるということで心配するんですけど、その辺も含めて分析していただいて、より効果のある補助をしていただきたい。特に、お金にかかわらず、市とタイアップしてやれるような事業があったらどんどんそういったようなことにも出ていただいて、緑陽高校の子供がこんなことをしているということがいろんなところで目に触れるような、頑張っているんで、次も自分らも行こうというふうな魅力化になるようお願いしたいと思います。

○馬場企画課長 これからは子供がどんどんどんどん少なくなっていく状態です。もう本当に10年後ぐらいには100人を切るような状態になってくとも考えられます。そういう中で備前だけ生き残ればいい、邑久だけ残ればいいということもないんですけれども、子供たちにとってなるべく一番いい方法は何かということを考えながら、さらに備前市の子供たちが備前市の学校に通えるようにということも考えながら、皆さんからも意見等いろいろいただきながら進めていきたいと思しますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○中西委員 通学費の助成金だと市内が20人と、入学時の費用助成で市内だと41人、手段の問題があるんだと思うんですけど、入学時費用助成金を今回なくしてしまうと、市内の子供が使う割合というのがもっと少なくなるわけですね。41人なんてな数にはならんわけで。そうなってくると、備前市内に住んでいる子供たちあるいは保護者の皆さんからすれば、市内の子にたったこれだけしか出さない、市外の子にたくさんお金が出ている。高校を選ぶかどうかというのは子供の判断があるわけで、そこには選択の自由があるわけですが、そうなった場合に、こういった備前市の助成金を受けることができない、この点について備前市に何らかの苦情が今まで寄せられているかどうかをまずお伺いをしたいと思います。

○馬場企画課長 苦情は受けておりません。

○中西委員 この表でいくと市内20人、市外70人、また備前市の子供が市外の高校に行って

いる数はもっと大きいわけですね。恐らく200から300ぐらいは行っている。そうなりますと、そこにはすごい差が出てくると。これはやっぱし私はどうかなと思うんですけど、この差別化についてはどうお考えになっているのか。

○馬場企画課長 あくまでも緑陽高校の存続に向けてということで出している補助金でございます。他の市町とかで、教育の補助金ということで対象全生徒に幾らか出しているということも聞いたことはありますが、備前市の補助金につきましては、あくまでも緑陽高校の存続を目指すということで出している補助金ということで御理解いただきたいと思います。

○中西委員 もう一つ、この資料から読むと、入学時の費用助成金が1,455万5,800円、これを合計金額から引くと大体5,000万円ぐらいにしかない、この表からするとね。5,000万円ぐらいしか残らない。ところが、予算では1,128万円が計上されているわけです。その差額の6,000万円はこの表でいえばどこに上がってくるのか。

○馬場企画課長 1,128万円は令和6年度の予算でございます、こちらの表は令和5年度の実績の数字でございます。

○中西委員 この表からだけ見ると、入学時費用助成金1,455万5,800円を引くと、合計金額でいえば、もう5,000万円ぐらいですわ、これだけでいくと。だけど、今度残るのは通学費助成金と通学用自転車購入費、これで行くと5,000万円で、予算では1,120万円だから6,000万円の差額があるわけです。どっかで何か、この1,120万円の算定にはどこかこの実績とは違うものが加味されているんだろうと。そうでないと、この1,128万円になりませんが。

○馬場企画課長 1,128万円の算定根拠でございますが、令和6年度の1年生、2年生、3年生の人数を376人と仮定しまして、その方が全員3万円の交通費を受け取ると、あくまでも最大の、目いっぱい取った仮定でございますが、376人掛ける3万円を掛けると1,128万円というような数字となってきます。

お配りしている表のどこに当てはまるかといいますと、この通学費助成金のところと通学用自転車、こちら2つ合計しますと230万円ぐらいになり、こちらが対象となってくるということでございます。

○中西委員 在校生の助成金利用率、現在43.2%ですけども、それを100にするという計算式でこの予算は組まれているわけですね。

○馬場企画課長 はい、予算上でございますので、もう100%で組んでいます。

○藪内委員 在校生の助成金利用率が43.2%、異常に低いように思うんですけど、分析はされていますでしょうか。

○馬場企画課長 一応在校生につきましては、4月の段階で一度文書にて案内はさせていただいております。もちろん広報とかにも載っております。ただ、市外の方は広報見られないんですけども、それからホームページにも載っております。それでも12月の段階でも30%後半

ぐらいの数字にしか上がっておりませんでしたので、忘れられとんじやないかということで、また文書を子供たちに持たせて、お父さん、お母さんに渡してくださいねということ、それから学校の先生からこういう補助金がまだあるよという話はしていただいたんですけども、結果的にはこういう数字で終わったということなので、ひょっとしたら渡ってないのかなということも考えられます。ですから、次年度につきましても、もうちょっとしっかり子供たちから親に伝えられるようなことを考えながら進めていきたいなとは思っております。

○藪内委員 やはりせっかくのサポートなのに、初年度に比べて減りましたよね。いいことをしたのに減るということは、やっぱりイメージ的に悪いわけですよ。だから、何かぐんと落ちた感じがあって、もうそれぐらいならいいやとかね、どうかは分かりませんが、私はそういうこともあるんだと思うんです。ですから、やっぱりもう少し慎重に、本当継続、持続が可能なことを、定員の発表の時期であるとか、それから廃止になるのが延長になったりして諸事情があるのは分かるんですけど、最初にどんと大きい花火を打ち上げて、次にしぼんでしまったらやはり効果が減るんで、ここはよく考えて、ずっと続けられることをやってほしいと思います。何かあればお願いします。

○馬場企画課長 補助金につきましては、委員のおっしゃるとおり継続してやっていくのが一番と考えております。先ほど申し上げたとおり、広報につきましても早いほうがいいというのも、もちろんそうであろうなというのも理解しております。その上で、7年度の補助金につきましても、継続否かにつきましては早めに判断いたしまして、PRできるようであれば早めにPRしていきたいと考えております。

○中西委員 同じ66ページの負担金補助及び交付金、研修会等参加負担金というのが5万円新たに計上されています。これについて内容をお聞かせください。

○馬場企画課長 こちらにつきましては、今年度も補正予算で取らせていただきました。地域共生政策自治体連携機構というところが主催する事業の研修に対して補助金をお支払いして参加させていただいたと、次年度につきましても参加したいということで負担金として上げさせていただいております。

○中西委員 苫田ダムの水源地域振興事業負担金、これの内容についてお聞かせください。

○馬場企画課長 苫田ダムの水源地域振興事業の負担金につきましては、事業としましては苫田ダムの建設により水没した鏡野町に対しまして、鏡野町が水没地域で振興事業を行うものの事業費の一部として補助していたものでございますが、鏡野町の水没地域の振興事業は既に終了しておりますので、その振興事業に財源として充てられておりました基金の支払い、起債の償還のほうに、それに対して一部助成をしているというものでございます。

○中西委員 これはいつまで続くんですか。

○馬場企画課長 今の予定では令和17年までお支払いということとなっております。

○尾川委員 71ページ、報酬のところで行政評価市民委員会委員報酬が出とんですが、これに

ついて、何人で、活動について話を聞かせてください。

○**神田行財政改革課長** これにつきましては、委員5名の4回の開催の単価が6,500円ということで13万円を計上させていただいております。

○**尾川委員** ほんなら減つとるわけ。前は7人じゃなかったかな。

○**神田行財政改革課長** 人数としては、予算上5人ということで、5人で計上させていただいております。

○**尾川委員** メンバーの概要を教えてくれる。というのは、今は違うと思うんじゃけど、市の関係の人が委員になったりしとるというて、それじゃおえまあがというて何遍か言われて、わし、一般質問もしたこともあるんじゃけど、その辺は懸念はねえんですかな。要するに、利益関係者が評価委員になつとんじゃねえんかというてはつきり言う人がおるからね、中には。

○**神田行財政改革課長** 今年度の実績でございますが、5名のうち学識経験者が2名、それから一般の公募の方が3名になっておりまして、委員がおっしゃられとるステークホルダー、俗に言う利害関係者になられる方はいらっしゃらないと認識しております。

○**尾川委員** 前は支援業務委託料ということでトーマツか何か、トーマツがええか悪いか知らんよ、ある程度アドバイスを受けたりして、それだけ職員の方が優秀になって、人の意見やこう聞かんでもええという状況になつとんじゃと思うんじゃけど、要らんこと言うけど、その辺のやっぱり、そう大した金額じゃなかったと思うんじゃけど、アドバイスを受けたりする必要があるんじゃねえかなと思うんで、そんなこたあ考えてなかったわけ、今回。去年もたしか予算なかったと思うんじゃけど。

○**神田行財政改革課長** 委員おっしゃっておられるのが行政評価システムのたしか支援業務委託料的なものだったかと思うんですけれども、従前、令和3年度ぐらまであったかと思うんですが、おっしゃられるようにトーマツさんへお世話になっておりました。行政評価そのものが旧備前から導入しまして平成12年の施行年からもう24年が経過するという中で、中心になる支援業務委託料の内容が市民意識調査、議員もよく御存じな、市民意識調査の属性分析であるとか、それからどういった重要度、満足度の経年変化になっているかということで、私ども職員のほうでも分析ができたり、そういう報告書の取りまとめができるということから、昨年以降はもう予算としては計上してございません。

○**尾川委員** 同じことを言うんじゃけど、やっぱりちったあよその意見も、優秀な方ばあじゃから、そねん人からアドバイスを受けえでもええんかもしれんけども、行政評価に限らず、公認会計士とかそういう人にアドバイスというのは受けるべきじゃねえかと思うんで、ぜひ独りよがりにならずに、人の意見を聞くように、できるだけ謙虚になって、新しいものに挑戦してもらいてえというのが意見ですわ。

○**神田行財政改革課長** 委員おっしゃられとるような御意見もごもつともだと思いますので、費用対効果を鑑みながら、今後もそういう必要性があれば検討してまいりたいと思っております。

○森本委員長 ほかに、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただいてよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、74、75ページで、2款総務費、1項総務管理費、8目安全対策費から92、93ページの2款総務費、5項統計調査費までを範囲といたします。

○藪内委員 82ページ、16目諸費、19節負担金補助及び交付金、国際交流事業補助金602万4,000円、これ約80万円増えていますが、理由と事業内訳をお願いいたします。

○馬場企画課長 令和5年度は派遣がオーストラリアのみでありましたが、6年度はアメリカと、韓国に派遣となっております。派遣のほうはやはり金額が高くなりますので、その分上昇しております。

具体的に言いますと、韓国の派遣で125万1,000円、それからアメリカの派遣で349万5,000円、それからオーストラリアの受入れで127万8,000円となっております。

○松本委員 関連して、多文化共生事業補助金というのは何をするんですか。

○馬場企画課長 多文化共生事業補助金につきましては、令和5年度もやっておりますが、日本語教室で、日本語教室は国際交流協会主催でやっておりますので、国際交流協会に対する補助金でございます。

○松本委員 これやめるんじゃないかといううわさを聞いておりますけど。

○馬場企画課長 今のところ継続の予定でございます。

○森本委員長 ほかに質疑のある方はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に移ってもよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、152ページ、9款消防費、1項消防費から186、187ページの13款諸支出金で、別紙13を参照にしてください。

○青山委員 152、153ページの消防費、非常備消防費の中の報酬、消防団員報酬が昨年は2,027万円ほどだったんですけど、これが5,741万2,000円ですか、大幅にアップしているんですけど、人数と理由を教えてください。

○竹林危機管理課長 今年度が5,741万2,000円、前年度が6,087万7,000円だったかと思うんですけども。減額になっとなるかと思います。

その原因としましては、消防団員さんの報酬になりますけども、昨年度は団員定数1,050人で積算をさせていただいておりました。来年度6年度につきましては、現状にある程度合わせた形ということで、960人の人数で算定したものでございます。

○中西委員 154ページの消防施設費の中で委託料で防災行政無線等の保守管理委託料という

のが前年度よりは倍以上増えているんですけども、理由についてお聞かせ願えたらと思います。

○竹林危機管理課長 主なものとして、防災行政無線の移動系の保守管理、それから、令和4年度に整備しました同報系の防災行政無線の保守点検が新たに517万円計上させていただいておる関係で増額となっております。

○中西委員 実際にこれは年1回使っているとか、要は例えば町内会長の家に置いているけども、バッテリー上がってないとか、そういうような点検とか、あるいは一回使ってみるということはやっておられるのでしょうか。

○竹林危機管理課長 同報系につきましては、屋外拡声器からいろんな避難情報でありますとかというあたりの情報伝達ということになります。そちらの分が新規に計上になっているというところでございます。

○中西委員 町内会長なんかに渡っているものではないと、今回の修理は。

○竹林危機管理課長 そちらは移動系のほうで、従前から経費が上がっているものが対象になっております。

○中西委員 156ページの原材料費、水防用資材で上がってきているのが、今日の出ている資料の水防費の備品購入で機械器具備品というのが上がっていて、非常用電源5台というんですけど、具体的にはどのようなものをいうのでしょうか。

○竹林危機管理課長 非常用蓄電池になります。通常避難所等へ配備させていただいて、非常時にはこちらの充電式の蓄電池を災害時に活用していきたいということで、今回計上させていただいております。

○中西委員 これは、初めて買うものですか。

○竹林危機管理課長 今回が初めて購入させていただく予定とさせていただいております。

○中西委員 資料によりますと5台となっているんですけども、もう少し年次的には増やしていく予定なんですか。

○竹林危機管理課長 最初として一応5台ということで計画させていただいておりますけども、今後随時増やしていけたらということでは考えております。

○中西委員 私も蓄電池は携帯を充電するようなものは持っているんですけども、これ恐らく大きなものだと思うんですけども、そうすると維持管理で、1年に1回とか一定の期間で充電をしておかなくちゃいけないというようなものなんですか。

○竹林危機管理課長 施設によっては常時充電しておくということも考えておりますけど、定期的に充電はやっていきたいと考えております。

○中西委員 となると、どこに保管されるのでしょうか。

○竹林危機管理課長 現在考えておりますのは、避難所として開設される施設へ置いていけたらと考えております。具体的にどこというのは、まだ決まってはおりません。

○森本委員長 関連ではないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、ほかにある方。

○尾川委員 155 ページ、水防費の報償費、アドバイザー謝礼で7万5,000円、これ横ばいなんですけど、どういうことをするのか。

○竹林危機管理課長 防災会議等を開催する場合に、場合によってアドバイザーとして参加いただくアドバイザーへの謝礼ということで2万5,000円の3回分を計上させていただいております。

○西上委員 155 ページ、19 節負担金補助及び交付金の県操法大会負担金、この大会に出場チームの参加するための負担金だったですかね。

○竹林危機管理課長 県大会へ出場した場合にお支払いする負担金になります。

○西上委員 1 チーム幾らなんですか。

○竹林危機管理課長 一応予算上は、自動車ポンプ1チーム、それから小型ポンプ1チーム分ということで、10万円掛ける2チームということになっています。

○西上委員 令和3年、4年の決算書を見たらこの項目がなかったんだけど、この年は出場チームがなかったというようなことでしたか。

○竹林危機管理課長 令和5年、1チーム、小型ポンプのほうで。3と4はないと思います。

○西上委員 令和3年、4年はなし。

出場してないから項目はないということですね。

○竹林危機管理課長 そうです。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、7 ページを開いてください。

第2表債務負担行為、一番上の音楽著作物使用料が範囲です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体を通してもございませんでしょうか。

○石原委員 歳出になるんですけど、さっき山陽新聞さんの20年の歩みか、そちらの経費、費用の御説明がございましたけども、こちらの今年度の当初予算におけるところで20周年記念事業に係る費用というのは何か計上されているのでしょうか、ほかには。

○則枝広聴広報課長 広聴広報課ですが、20周年記念事業としましては、73 ページ、11 番需用費、印刷製本費187万6,000円のうち132万円につきまして、式典用の20年の歩みというダイジェスト版と、あと同じものを市民配布用として合計1万5,000部を予定しております。

○**神田秘書課長** 秘書課から合併記念行事について御報告します。

ページ番号が72、73ページになります。

節として8節の報償費、講師謝礼、うち合併記念式典の謝礼といたしまして11万円のうち8万円、8万円を記念式典の司会者の謝礼とステージイベントの謝礼ということで予算計上させていただいております。

それから、その下段の記念品等も内数になりますけれども、招待者の記念品であるとか来賓の記念品に対して188万円を計上させていただいております。

それから、その下段にございます表彰記念品につきましては合併以降、市に功績があった方等に対して感謝状の贈呈ということで記念品を満額、42万9,000円を計上させていただいております。

それから、11節の需用費、消耗品費、46万4,000円を合併記念式典の紙袋とか、そういった準備物の一般消耗品で予算計上させていただいております。

それから、その下段の食糧費については満額、茶葉代として計上させていただいております。

それから、12節役務費の通信運搬費、内数になりますけれども、郵券代、はがき代等、合併記念式典に係る御案内等々、21万円計上させていただいております。

それから、最後になりますけれども、12節役務費、手数料、一番下段、これも内数になりますけれども、式典の白布のクリーニング代といたしまして2万2,000円計上させていただいております。

○**石原委員** 現地点では、先ほど御説明いただいた費用でもって式典に向かっていかれると。ほかに、さっきもう総務終わったんですけど、総務系には係る費用があったんかどうか、うっかりしたんですけど。取りあえず、今おられる皆様方のところは以上ということ。

○**則枝広聴広報課長** あと、68ページ、69ページになります。こちら11節需用費、印刷製本費1,301万6,000円の内訳になるんですけども、こちらは「広報びぜん」と、先ほど式典用ではなく、ちょっと深掘りした市史ということで予定しております、約200冊を用意しております。

印刷代金が270万6,000円、A4冊子の200ページ、カラー10ページ、モノクロ190ページ物です。こちらを200冊、クラフトケースに入れて保存版として印刷しようと思っております。

○**尾川委員** 行事がはっきりせんし、まとめたものをペーパーで頂戴。

○**馬場企画課長** 委員が昨日おっしゃっていたような形でお出ししようと思いますが、今現在こちらで把握しているものでいいますと、先ほど秘書課が申しあげました記念式典、それから広聴広報課の備前市史、文化振興課の合併20周年記念の第九、それから合併記念事業としては上げておりませんが、企画課でやっております市の市歌、こちらのほうが合併20周年に向けての事業ということで進めているもの。

それから、昨日文化の森部長が申し上げておりましたが、各既存の事業で冠をつけていく事業、こういうものが最終的には当てはまってこようと思いますけれども、企画課で調査して、また取りまとめまして皆さんにお示ししたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○尾川委員 わしの聞き間違いかも知らん、20年の歩みが1万5,000部というて話があったと思う。1万5,000部いうたら、たしか世帯数は1万5,000ぐらい備前市内あると思うんじゃ。ほったら、ええかげんにすんかということなんじゃけど、きちっとした数、何ぼか予備せにゃおえんのじゃろうし、記録も残していかないけまあし、どう考えとんか、たしか世帯数、わしも正確には知らんのよ。だけど、1万5,000はおったと思うんです、世帯数は。せえて1万5,000で印刷したら、間に合わん。

○則枝広聴広報課長 こちら広報と一緒に巻き込んで送らせていただこうと思っております。広報配布部数が1万4,200部を予定しております。あと、式典用に800を予定して1万5,000冊を予定しております。

○石原委員 口頭で聞いた以上、確認させてください。

神田課長が言われた73ページの役務費のうちの手数料でしたかね、クリーニング代等々、それが幾ら言われたんですか。すみません。

○神田秘書課長 2万2,000円でございます。

○森本委員長 そしたら、馬場課長、一覧表でまとめて出してやってください。

○中西委員 クリーニング代で7,337万8,000円もかかるんですか。

○神田秘書課長 うちクリーニング代相当が2万2,000円でございます。

○中西委員 76ページの安全対策費の負担金補助及び交付金、去年の当初にはあった自主活動団体支援事業補助金30万円というのが今回ないんですけども、なくなった理由は何なんでしょう。

○竹林危機管理課長 こちらは地区の防犯活動団体に対する補助金になりますけども、5年に1度の補助金制度ということで、本年度は上がっておりません。

○中西委員 あと、自主防災組織への補助金が今回前年度より下がっているんですけども、一般質問の答弁とか見ると、もっと増えるのかなと思ったんですけど。

○竹林危機管理課長 いろいろな場面で活用を呼びかけてはいるんですけど、近年の実績等も見まして、若干予算は減額させていただいております。

○中西委員 どうしたらいいんかというのは少し検討する必要があるような感じがします。

○森本委員長 いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、これをもちまして議案第2号中、市長公室、総合政策部関係の審査を終わります。

以上で予算決算審査委員会を閉会いたします。

皆様、御苦労さまでした。

午後4時18分 閉会